カメラとの通信用ソフトウェア

EOS Utility

Ver.2.6

1Ds Mk III 1D Mk III 5D Mk II 50D 40D Kiss X3 Kiss X2 Kiss F

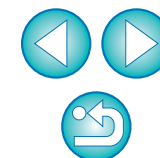
使用説明書

本使用説明書上のおことわり

- 名称の EOS Utility を EU と表記しています。
- カメラの名称をアイコンで示しています。
  例：EOS-1D Mark III → 1D Mk III
- は対象カメラを示しています。
- Mac OS X 10.4 を使用した画面を例に説明しています。
- ▶ の手順は、メニューの選択順序を示しています。
  （例：メニューの［ウィンドウ］▶［メイン画面］を選ぶ）
- ［ ］内の語句は、パソコン画面上に表示されるメニューやボタン、画面の名称を示しています。
- 〈 〉内の語句は、カメラのスイッチ名称やマーク、キーボードのキー名称を示しています。
- p.** の ** は、参照ページを示しています。
  また、クリックすると参照ページが表示されます。
- ：注意事項です。
- ：補足説明です。

ページの移動

- 画面右下のマークをクリックします。
  - ：次ページ
  - ：前ページ
  - ：ひとつ前に表示していたページに戻る
- 画面右端に配置された章見出しをクリックすると、章目次のページが表示されます。さらに、目次の読みたい項目をクリックするとそのページが表示されます。

 CT1-7169EUMJ-000

はじめに

EOS Utility（以降 EU と表記）は、EOS DIGITAL カメラとの通信用ソフトウェアです。カメラとパソコンをカメラに付属のケーブルで接続すると、カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像をパソコンに取り込んだり、カメラの各種設定やリモート撮影をパソコン上の EU から行うことができます。

EU でできること

EU からカメラをリモートコントロールして、主に次のことができます。

- **カメラ内のメモリーカードに保存されている撮影画像を一括してパソコンへ取り込む**
  - 選んだ画像だけをパソコンに取り込むことも可能
- **パソコンからの各種カメラ設定**
- **パソコンからカメラを制御したリモート撮影**
  - パソコンでリアルタイムに被写体を確認しながら撮影できる「リモートライブビュー撮影」に対応
  - カメラのシャッターボタン操作によるリモート撮影にも対応
  - 設定した時間でカメラが自動撮影を行うタイマー撮影
- **画像取り込み時、リモート撮影時に連携動作する Digital Photo Professional で、画像を即閲覧／確認**

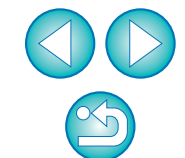
動作環境

OS（オペレーティングシステム）	Mac OS X 10.4 ～ 10.5
機　種	上記の日本語版 OS がインストールされていて、USB 接続部を標準装備した Macintosh
CPU（シーピーユー）	PowerPC G4、G5、Intel プロセッサー
RAM（メモリー）	1GB 以上
インターフェース	Hi-Speed USB
ディスプレイ	解像度：1024 × 768 以上 カラー：約 32,000 カラー以上

- Intel プロセッサー搭載の Macintosh で Mac OS 10.4 をお使いの方は、Mac OS 10.4.7 以降にアップデートしてください。

対応カメラ

下記のカメラで撮影した RAW 画像、JPEG 画像、MOV 動画に対応しています。

EOS-1Ds Mark III	EOS-1D Mark III
EOS 5D Mark II	EOS 50D
EOS 40D	EOS Kiss X3
EOS Kiss X2	EOS Kiss F

やりたいこと目次

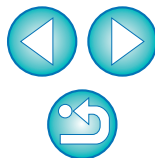
カメラからパソコンへの画像取り込み

パソコンからのカメラ設定

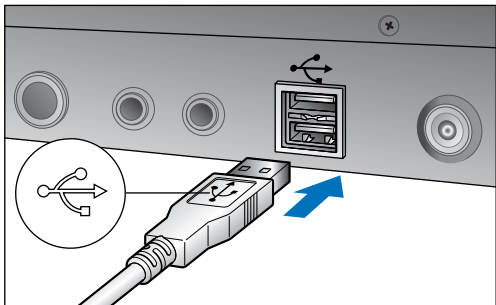
リモート撮影

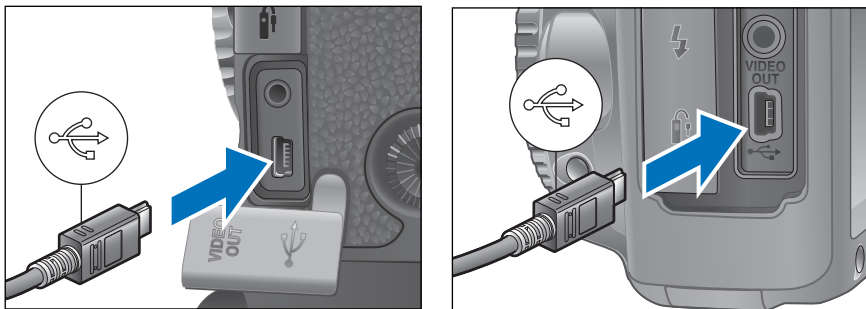
別売アクセサリーとの連携機能

1 パソコンに画像を取り込む

パソコンに画像を取り込むための準備（カメラとパソコンの接続方法）、EU の立ち上げかた、カメラからパソコンへの画像の取り込みかた、EU の終了方法までの基本的な一連の操作方法を説明します。

カメラとパソコンを接続する

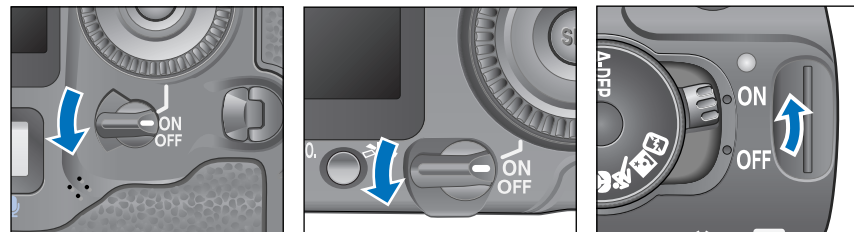
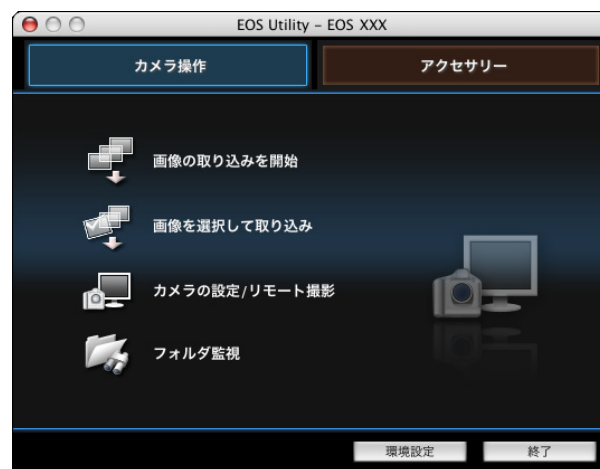
カメラで撮影した画像をパソコンに取り込むため、カメラに付属のインターフェースケーブルでカメラとパソコンを接続します。

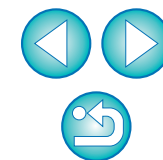
1 **ケーブルの大きい方のプラグを、パソコンの USB 接続部に差し込む**

- USB 接続部の位置や向きについては、パソコンの使用説明書を参照してください。

2 **ケーブルの小さい方のプラグを、カメラの〈⭠⭢〉端子に差し込む**

- プラグの〈⭠⭢〉マークをカメラの前面に向けて差し込みます。
- 画像を取り込む準備ができました。引き続き「EU を立ち上げる」へ進んでください。
- 1Ds Mk III 1D Mk III では、プラグ抜け防止用のケーブルプロテクターで、カメラとプラグを固定することができます。使いかたについては、p.51 を参照してください。

EU を立ち上げる

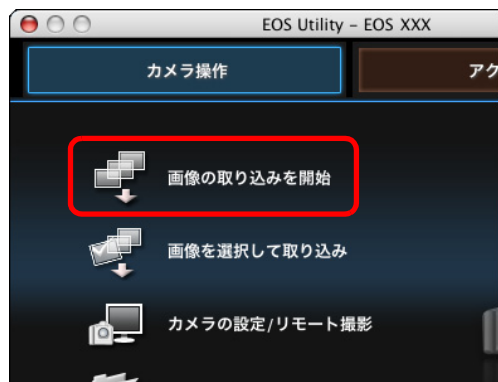
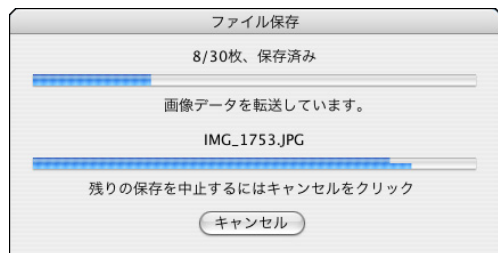
カメラの電源スイッチを〈ON〉にすると EU が立ち上がり、カメラとパソコンが通信できる状態になります。

カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

EU メイン画面

→ EU が立ち上がりメイン画面が表示されて、カメラとパソコンの通信が可能になりました。引き続き「画像を一括してパソコンに取り込む」へ進んでください。

- EU が立ち上がるとカメラの液晶モニターが点灯します。
- カメラを操作して、カメラ内のメモリーカードに保存されている画像を、パソコンに取り込むことができます。詳しくは、カメラの使用説明書を参照してください。
- Kiss X3 では、カメラのモードダイヤルが〈動画〉になっていると、EU と接続できません。モードダイヤルは〈動画〉以外にセットしてください。

画像を一括してパソコンに取り込む

カメラ内のメモリーカードに保存されている画像の中で、まだ取り込んでいない画像を、一括してパソコンに取り込むことができます。

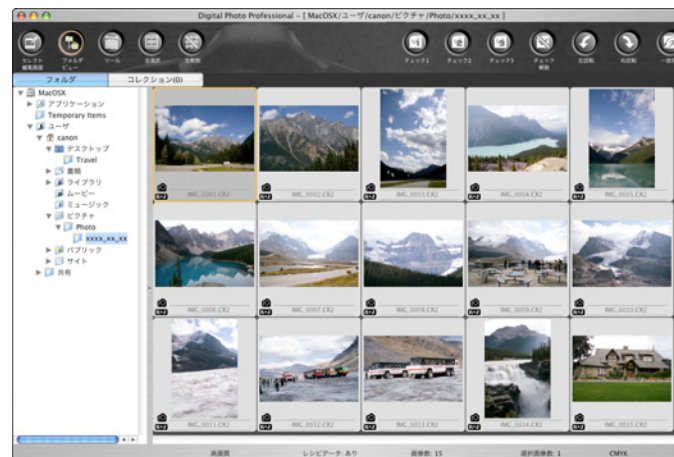
また、取り込んだ画像は撮影日ごとにフォルダに分類されて、連携して立ち上がる Digital Photo Professional（RAW 画像現像／閲覧／編集ソフトウェア）（以降 DPP）のメイン画面に表示され、すぐに確認することができます。

1 ［画像の取り込みを開始］をクリックする

ファイル保存画面

➜［ファイル保存］画面が表示され、パソコンへの画像取り込みがはじまります。

➜取り込まれた画像は、パソコンの［ピクチャ］フォルダに保存されます。

● すべての画像が取り込まれると、DPP が自動的に立ち上がり、DPP のメイン画面に取り込んだ画像が表示されます。

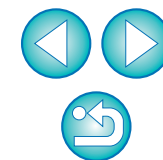
2 取り込んだ画像を確認する

DPP メイン画面

● 取り込んだ画像を DPP で確認します。
DPP の使いかたについては、「Digital Photo Professional 使用説明書」（PDF 形式の電子マニュアル）を参照してください。

● 引き続き「EU を終了する」（p.9）へ進んでください。

● 画像を取り込んだときに連携して立ち上がるソフトウェアを、DPP から ImageBrowser や別のソフトウェアに変更することができます。（p.44）

● 取り込み対象となる画像や保存先を変更することができます。（p.43、p.44）

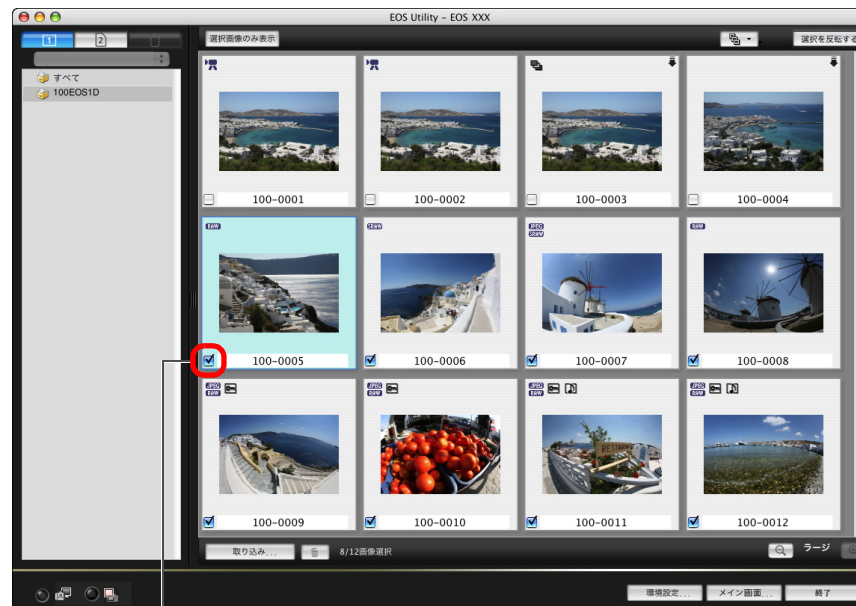
● 動画はファイルサイズが大きいため、取り込みに時間がかかります。

画像を選んでパソコンに取り込む

カメラ内のメモリーカードに保存されている画像を見て、必要な画像だけをパソコンに取り込むことができます。

1 [画像を選択して取り込み] をクリックする

➜ ビューワー画面が表示され、メモリーカード内の画像が表示されます。

2 画像を見て、取り込む画像をチェックする

ビューワー画面

3 [取り込み] ボタンを押す

➜ [画像の取り込み] 画面が表示されます。

4 保存先を設定して［OK］ボタンを押す

パソコン上の保存先を表示

画像の取り込み画面

EOS Utility – 画像の取り込み

ファイル名の指定

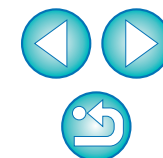
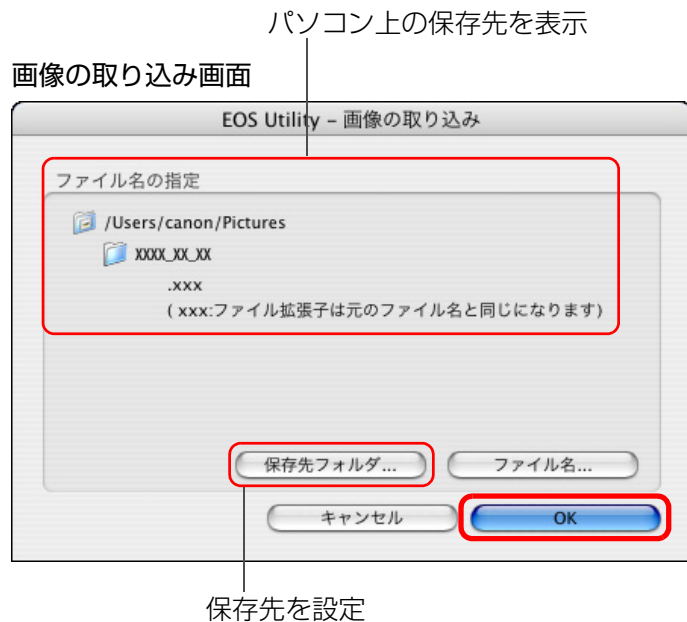
/Users/canon/Pictures

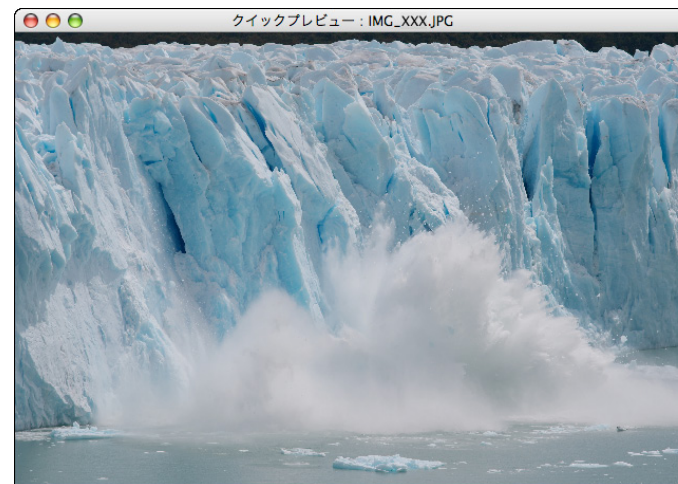
XXXX_XX_XX

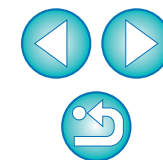
.xxx

(xxx:ファイル拡張子は元のファイル名と同じになります)

保存先フォルダ...　ファイル名...

キャンセル　OK

保存先を設定

➜［ファイル保存］画面が表示され、パソコンへの画像取り込みがはじまります。

➜パソコンに取り込まれた画像は、［クイックプレビュー］画面に表示されます。

- ［クイックプレビュー］画面では、取り込まれた画像を素早く確認することができます。なお、［クイックプレビュー］画面の表示サイズは変更することができます。
- すべての画像が取り込まれると、DPP が自動的に立ち上がり、取り込んだ画像が表示されます。
- メイン画面に切り換えるときは、ビューワー画面の［メイン画面］ボタンを押します。

- 手順２で連続した複数の画像を一括してチェックすることもできます。取り込みたい最初の画像をクリックしたあと、〈shift〉キーを押したまま最後の画像をクリックすると、［ ］が表示されます。［ ］ボタンを押すと、選んだ画像が一括してチェックされます。
- ビューワー画面の機能一覧は、p.53 を参照してください。

カードリーダーで画像を取り込む

市販のカードリーダーをお持ちの方は、カードリーダーを使って、メモリーカードに保存されている画像をパソコンに取り込むこともできます。ただし、EU はカードリーダーを使った画像取り込みには対応していません。そのため、カードリーダーを使った画像取り込みは、以下の 3 種類の方法で行ってください。

Digital Photo Professional を使った画像取り込み

DPP を使って、パソコンに接続された市販のカードリーダー内のメモリーカードから、撮影画像をパソコンに取り込むことができます。

詳しい使いかたは、「Digital Photo Professional 使用説明書」（PDF 形式の電子マニュアル）の「カードリーダーで取り込む」を参照してください。

ImageBrowser を使った画像取り込み

ImageBrowser を使って、パソコンに接続された市販のカードリーダー内のメモリーカードから、撮影画像をパソコンに取り込むことができます。

詳しい使いかたは、「ImageBrowser 使用説明書」（PDF 形式の電子マニュアル）の「カードリーダーで取り込む」を参照してください。

キヤノン製ソフトウェアを使わない画像取り込み

DPP や ImageBrowser などのキヤノン製ソフトウェアを使わずに、カードリーダーを使って撮影画像を取り込むときは、メモリーカード内の「DCIM」フォルダをパソコンにコピーしてください。

メモリーカード内の詳しいフォルダ構造とファイルについては、p.50 を参照してください。

EU を終了する

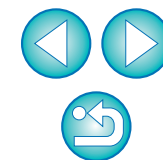
1 **［終了］ボタンを押す**

➜ 画面が閉じて EU が終了します。

2 **カメラの電源スイッチを〈OFF〉にする**

3 **カメラとパソコンからケーブルを抜く**

● ケーブルを引っぱらずに、必ずプラグを持って抜いてください。

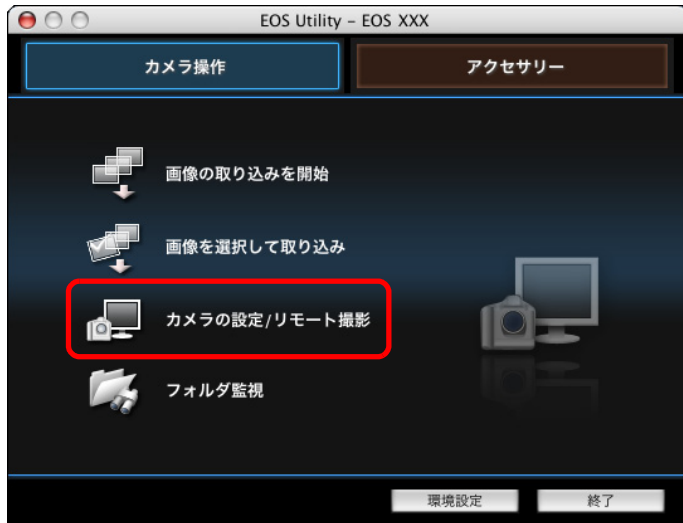
はじめに
やりたいこと目次
画像取り込み
カメラ設定
リモート撮影
環境設定
資　料
索　引

2 パソコンからカメラを設定する

カメラの各種機能を、EU から設定する方法について説明します。

カメラの所有者名や著作権情報、日付／時刻を設定する

撮影した画像に撮影情報として書き込まれる、カメラの所有者名や著作権情報、日付／時刻などを設定して、カメラに適用することができます。

1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.5)

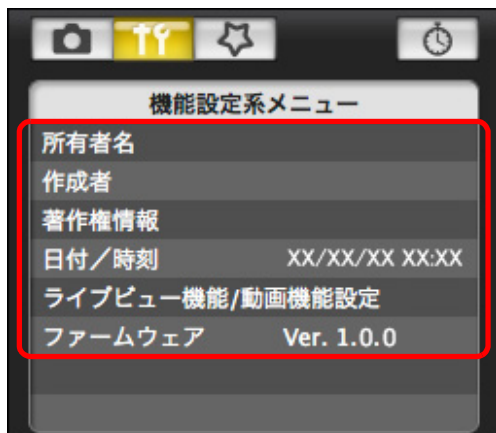
2 [カメラの設定／リモート撮影] をクリックする

➜ キャプチャー画面が表示されます。

3 [ ] ボタンを押す

キャプチャー画面

➜ [機能設定系メニュー] が表示されます。

4 設定する項目をクリックして各内容を設定する

機能設定系メニュー

- 接続しているカメラで設定できる項目が表示されます。内容については、「カメラ別の設定可能項目」（下記）を参照してください。

キャプチャー画面の機能一覧は、p.56 を参照してください。

カメラ別の設定可能項目

設定項目	1Ds Mk III / 1D Mk III	5D Mk II / 50D / Kiss X3	40D	Kiss X2 / Kiss F
所有者名	○	○	○	○
作成者	－	○	－	－
著作権情報	－	○	－	－
日付／時刻	○	○	○	○
ライブビュー機能設定／動画機能設定 *1	○	○	○	○
ファームウェア	○	○	○	○

所有者名
- カメラの所有者名を、半角英数字で最大 31 文字まで入力／設定することができます。

作成者 *2
- 作品の作成者を、接頭語を含め、半角英数字／記号で最大 63 文字まで入力／設定することができます。また、初期状態では接頭語に [Photographer:] が設定されますが、新しい接頭語に書き換えることもできます。

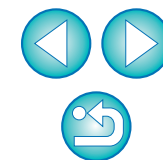
著作権情報 *2
- 著作権情報を、接頭語を含め、半角英数字／記号で最大 63 文字まで入力／設定することができます。また、初期状態では接頭語に [Copyright:] が設定されますが、新しい接頭語に書き換えることもできます。

日付／時刻
- カメラの日付／時刻を設定することができます。

ライブビュー機能設定／動画機能設定 *1
- ライブビュー撮影機能／動画機能設定（p.24）を有効にするかどうかを設定することができます。

ファームウェア
- カメラのファームウェアのバージョンが表示されます。
- 本項目をクリックすることで、ファームウェアをアップデートすることができます。
- ファームウェアアップデートの詳しい内容については、キヤノンホームページを参照してください。

*1 動画機能設定は 5D Mk II Kiss X3 のみ

*2 設定されている作成者、著作権情報がすべて表示されていないときは、表示されている設定内容にカーソルを重ねると、すべての設定内容がポップアップ表示されます。

カメラの機能を設定する

ピクチャースタイル、カスタムホワイトバランス、JPEG 画質、ホワイトバランス補正を設定して、カメラに適用することができます。

1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.5)

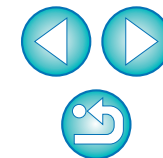
2 〔カメラの設定／リモート撮影〕をクリックする

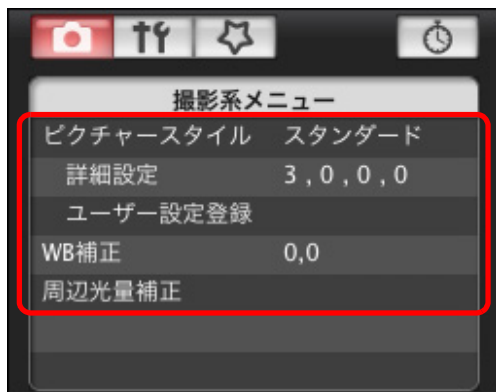
➜ キャプチャー画面が表示されます。

3 〔 〕ボタンを押す

➜〔撮影系メニュー〕が表示されます。

はじめに
やりたいこと目次

資　料
索　引

4 設定する項目をクリックして各内容を設定する

撮影系メニュー

- 接続しているカメラで設定できる項目が表示されます。内容については、「カメラ別の設定可能項目」(右記)を参照してください。

カメラ別の設定可能項目

設定項目	1Ds Mk III / 1D Mk III	5D Mk II / 50D / Kiss X3	40D	Kiss X2 / Kiss F
ピクチャースタイル	○	○	○	○
カスタムホワイトバランス	○	–	○	–
JPEG 画質	○	–	–	–
ホワイトバランス補正	○	○	○	○
周辺光量補正データの登録	–	○	–	–

ピクチャースタイル

- カメラでの操作と同じように、ピクチャースタイルを設定してカメラに適用することができます。(p.15)

カスタムホワイトバランス

- RAW Image Task で保存したカスタムホワイトバランスファイルをカメラに登録することができます。(p.18)

JPEG 画質

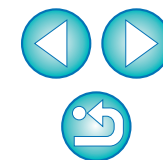
- カメラでの操作と同じように、JPEG 画像の記録画質を設定してカメラに適用することができます。(p.19)

ホワイトバランス補正

- カメラでの操作と同じように、ホワイトバランスを補正することができます。(p.20)

周辺光量補正データの登録

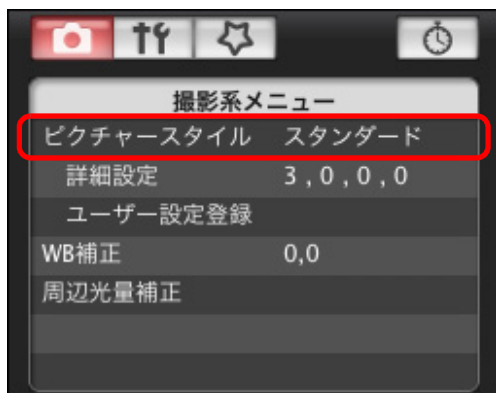
- レンズ周辺光量補正データをカメラに登録したり、カメラから削除することができます。(p.20)

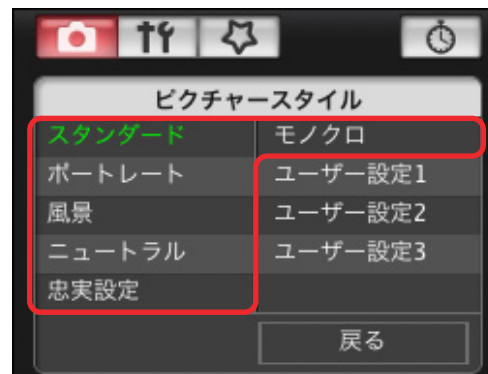
キャプチャー画面の機能一覧は、p.56 を参照してください。

ピクチャースタイルを設定してカメラに適用する

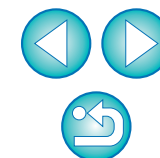
カメラでの操作と同じように、ピクチャースタイルを設定してカメラに適用することができます。各ピクチャースタイルの**［シャープネス］**、**［コントラスト］**、**［色の濃さ］**、**［色あい］**の値を変更してカメラに設定したり、自分の好みに設定したピクチャースタイルをユーザー設定としてカメラに３つまで登録することができます。

また、キヤノンホームページからダウンロードしてパソコンに保存したピクチャースタイルファイルや、Picture Style Editor（ピクチャースタイルファイル作成用ソフトウェア）（以降 PSE）で作成してパソコンに保存したピクチャースタイルファイルを、ユーザー設定としてカメラに登録することもできます。

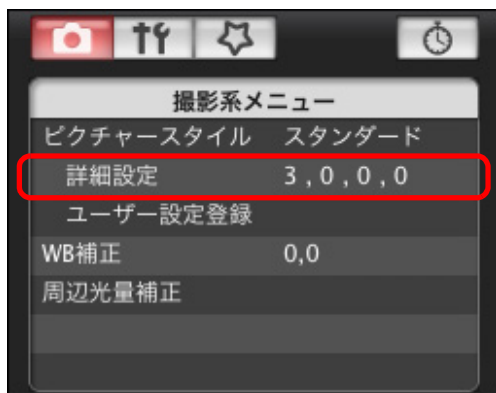
ピクチャースタイルを選んでカメラに適用する

1 ［ピクチャースタイル］をクリックする

➜**［ピクチャースタイル］**画面が表示されます。

2 カメラに設定するピクチャースタイルをクリックする

ピクチャースタイル画面

➜設定内容がカメラに適用され、**［撮影系メニュー］**に戻ります。

ピクチャースタイルの設定値を変更してカメラに適用する

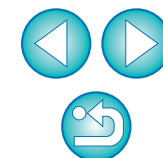
カメラでの操作と同じように、各ピクチャースタイルの［シャープネス］、［コントラスト］、［色の濃さ］、［色あい］を自分好みに設定して、カメラに適用することができます。

1 ［詳細設定］をクリックする

→［詳細設定］画面が表示されます。

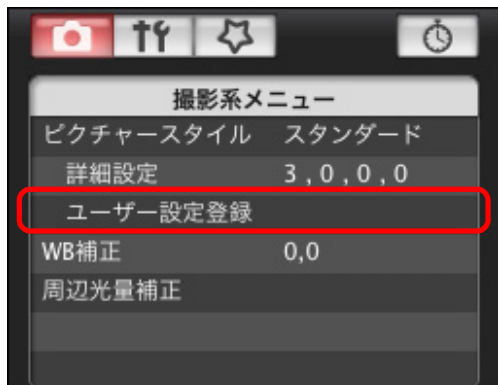
2 各項目のスライダー上の目盛をクリックして設定する

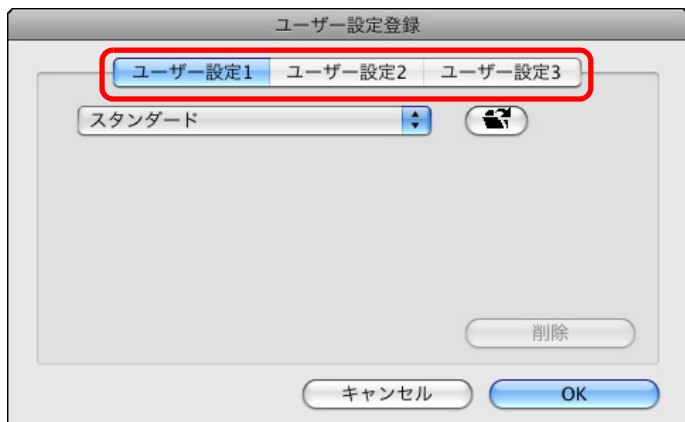
→ピクチャースタイルで［モノクロ］を選んだとき（p.15）は、［フィルター効果］、［調色］のリストボックスが表示されます。

3 ［戻る］をクリックする

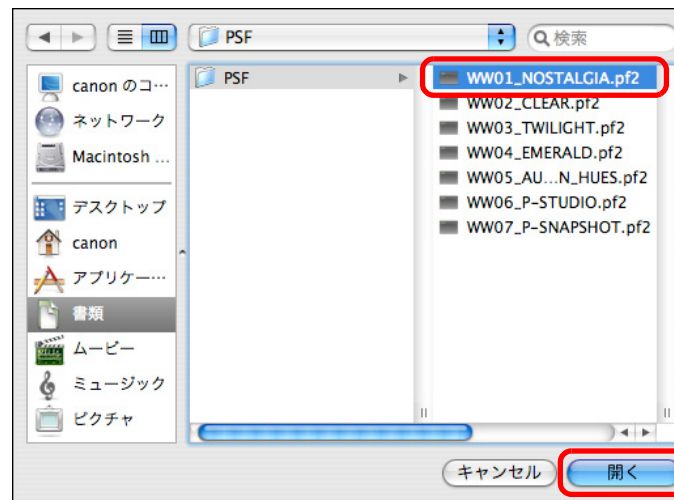
→設定内容がカメラに適用され、［撮影系メニュー］に戻ります。

ピクチャースタイルファイルをカメラに適用する

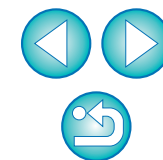
キヤノンホームページからダウンロードしてパソコンに保存したピクチャースタイルファイルや、PSE で作成してパソコンに保存したピクチャースタイルファイルを、ユーザー設定として 3 つまでカメラに登録することができます。

1 [ユーザー設定登録] をクリックする

→ [ユーザー設定登録] 画面が表示されます。

2 [ユーザー設定 1] ～ [ユーザー設定 3] のいずれかのタブを選ぶ

3 [ ] ボタンを押す

→ ピクチャースタイルの読み込み画面が表示されます。

4 ピクチャースタイルファイルを選び、[開く] ボタンを押す

→ ピクチャースタイルファイルが読み込まれます。

はじめに
やりたいこと目次
画像取り込み
カメラ設定
リモート撮影
環境設定
資　料
索　引

5 [OK] ボタンを押す

➜ ピクチャースタイルファイルがカメラに登録されます。

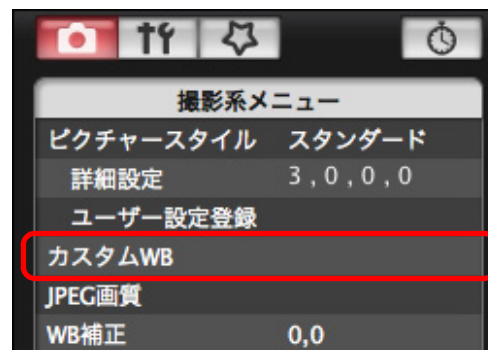
- ピクチャースタイルファイルとは、ピクチャースタイルの拡張機能ファイルです。ピクチャースタイルファイルの詳しい内容については、キヤノンホームページを参照してください。
- カメラに適用できるピクチャースタイルファイルは、拡張子が「.PF2」のファイルだけです。
- PSE の使いかたについては、「Picture Style Editor 使用説明書」（PDF 形式の電子マニュアル）を参照してください。

カスタムホワイトバランスをカメラに登録する

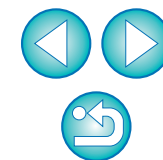
RAW 画像のホワイトバランスを調整して保存したホワイトバランスファイルを、カスタムホワイトバランスとしてカメラに登録することができます。

なお、ホワイトバランスの調整や保存は、ImageBrowser から RAW Image Task を立ち上げて行います。

RAW Image Task については、「ImageBrowser 使用説明書」（PDF 形式の電子マニュアル）を参照してください。

1 [カスタム WB] をクリックする

➜ [カスタムホワイトバランス設定] 画面が表示されます。

2 登録するカスタムホワイトバランスを選び、[開く] ボタンを押す

➜ ファイルを選ぶ画面が表示されます。

3 ホワイトバランスファイルが保存されている場所を開き、ファイルを選んで［開く］ボタンを押す

➜ホワイトバランスファイルが読み込まれます。

● カメラに登録できるホワイトバランスファイルは、拡張子が「.WBD」のファイルです。

4 ［タイトル］入力欄にタイトルを入力する

● 40D では入力することができません。

5 ［カメラに登録］ボタンを押す

➜カスタムホワイトバランスがカメラに登録されます。

● 40D ではマニュアルホワイトバランスとして登録されます。

● 引き続き登録するときは、手順 2 ～ 5 の操作を繰り返してください。

6 ［閉じる］ボタンを押す

➜［カスタムホワイトバランス設定］画面が閉じ、［撮影系メニュー］に戻ります。

7 登録したカスタムホワイトバランスをカメラで選ぶ

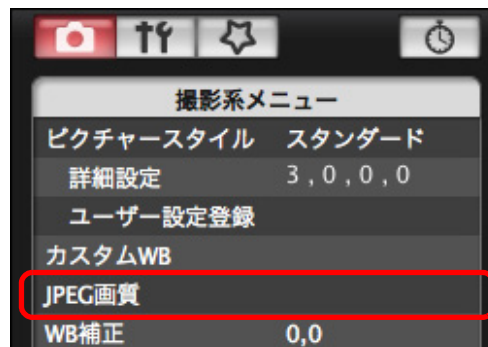
● 登録したカスタムホワイトバランス（1Ds Mk III 1D Mk III）、またはマニュアルホワイトバランス（40D）をホワイトバランスとして選びます。

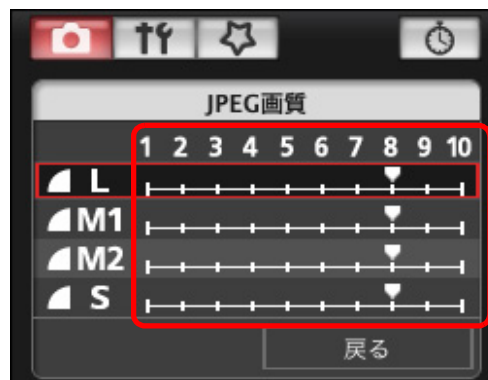
● カスタムホワイトバランス、またはマニュアルホワイトバランスの選びかたについては、付属のカメラ使用説明書「ホワイトバランスの選択」（1Ds Mk III 1D Mk III）、または「ホワイトバランスの設定」（40D）を参照してください。

JPEG 記録画質を設定してカメラに適用する

1Ds Mk III 1D Mk III

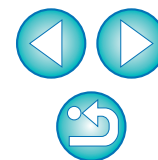
カメラでの操作と同じように、JPEG 画像の記録画質を設定して、カメラに適用することができます。

1 ［JPEG 画質］をクリックする

➜［JPEG 画質］画面が表示されます。

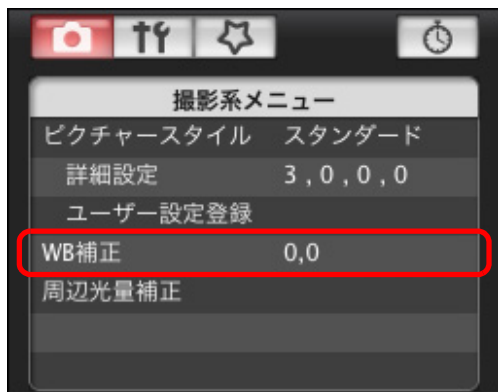
2 設定位置をクリックする

➜設定内容がカメラに適用されます。

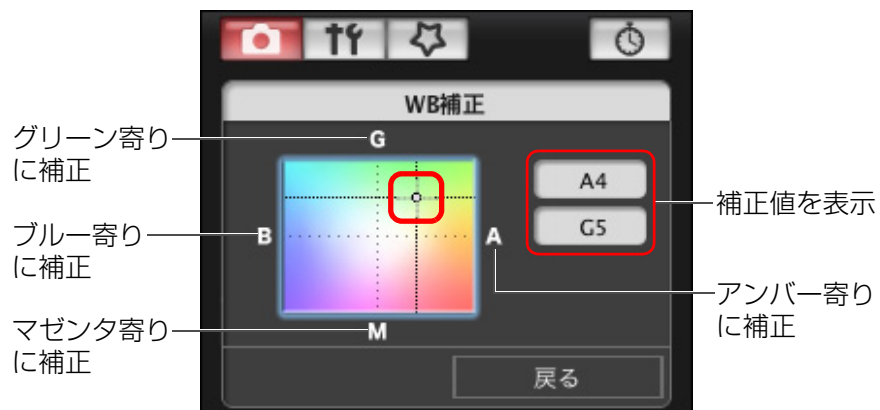
● 各サイズとも、数値が大きくなるほど圧縮率が低く、高画質になります。

3 ［戻る］をクリックする

➜［撮影系メニュー］に戻ります。

ホワイトバランスを補正してカメラに適用する

カメラでの操作と同じように、ホワイトバランスを補正することができます。

1 ［WB 補正］をクリックする

➜［WB 補正］画面が表示されます。

2 補正位置をクリックする

➜設定内容がカメラに適用されます。

3 ［戻る］をクリックする

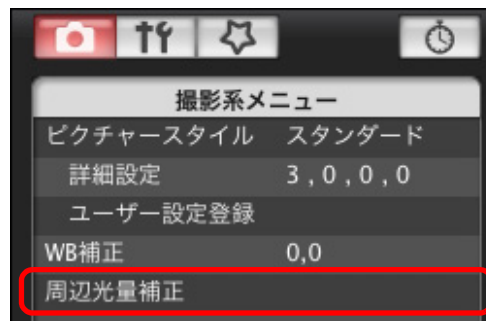
➜［撮影系メニュー］に戻ります。

●補正値を元の値に戻すときは、手順 2 の操作で戻します。

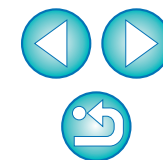
レンズ周辺光量補正データをカメラに登録する

5D Mk II　50D　Kiss X3

レンズ周辺光量補正データをカメラに登録したり、カメラから削除することができます。

1 ［周辺光量補正］をクリックする

➜［周辺光量補正データの登録］画面が表示され、カメラに補正データが登録されているレンズにチェックが入ります。

2 補正データを登録したいレンズのカテゴリーを選ぶ

➜選んだカテゴリーのレンズのみ一覧表示されます。

3 補正データを登録したいレンズを選び、［OK］ボタンを押す

→ 選んだレンズの補正データがカメラに登録されます。

- ［周辺光量補正データの登録］画面の機能一覧は、p.54 を参照してください。
- ［周辺光量補正データの登録］画面に表示されるレンズ名は、レンズの種類によってはレンズ名の一部が省略されて表示されることがあります。

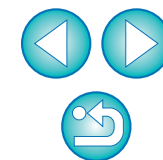
マイメニューを設定してカメラに登録する

カメラでの操作と同じように、よく使うメニュー項目を、6 項目までマイメニューとしてカメラに登録することができます。

なお、登録できる項目は、各タブの第一階層の項目とカスタム機能の全項目です。

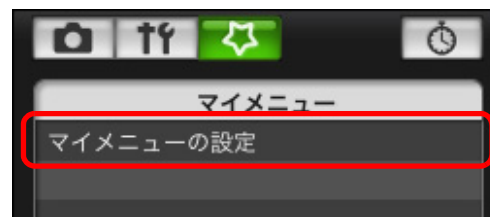
1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.5)

2 ［カメラの設定／リモート撮影］をクリックする

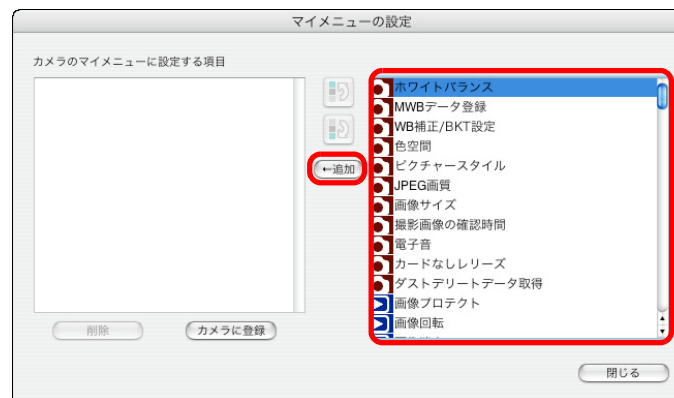
→ キャプチャー画面が表示されます。

3 ［ ］ボタンを押す

➜［マイメニュー］が表示されます。

4 ［マイメニューの設定］をクリックする

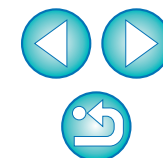
マイメニュー

➜［マイメニューの設定］画面が表示されます。

5 登録する項目を選び、［追加］ボタンを押す

マイメニューの設定画面

➜選んだ項目が、画面左側の［**カメラのマイメニューに設定する項目**］に追加されます。

- 上記の操作で 6 項目まで登録することができます。
- 項目を選んで［ ］ボタンまたは［ ］ボタンを押すと、選んだ項目が移動して並び順が変わります。

6 ［カメラに登録］ボタンを押す

➜設定内容がカメラに適用されます。

マイメニューの設定画面の機能一覧は、p.55 を参照してください。

3 パソコンからカメラを制御するリモート撮影

EU からカメラをリモートコントロールして、EU の画面上で被写体を見ながらカメラを設定し、撮影することができます。また、リモート撮影状態でのカメラ操作による撮影や、設定した時間でカメラが自動撮影するタイマー撮影を行うこともできます。

リモートライブビュー撮影

EU からカメラをリモートコントロールして、パソコンの画面上で撮影することができます。

また、撮影した画像はそのままパソコンに保存され、連携する Digital Photo Professional（以降 DPP）で、再度確認することもできます。

一定の構図で大量の撮影を行う、スタジオ撮影などに有効な機能です。

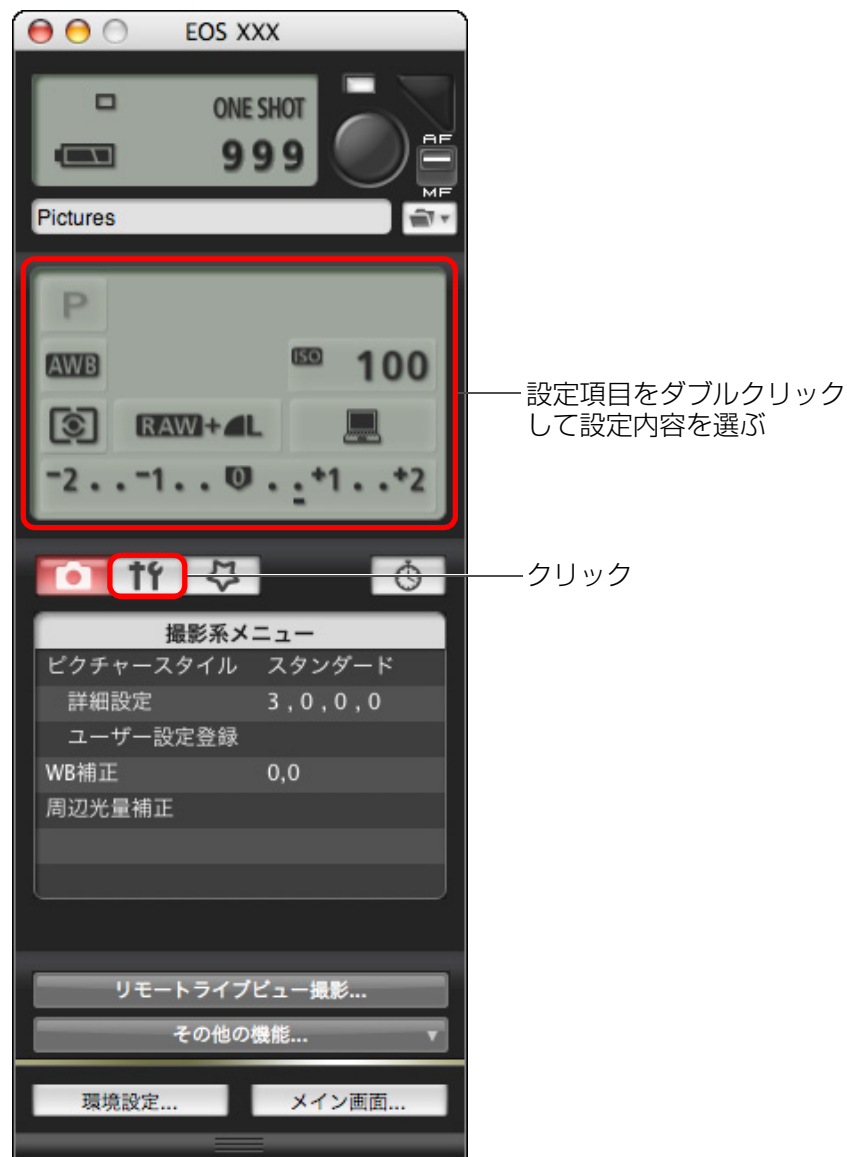
1 カメラとパソコンを接続して、カメラの電源スイッチを〈ON〉にする

➜ EU が立ち上がります。

- Kiss X3 では、カメラのモードダイヤルが〈動画〉になっていると、EU と接続できません。モードダイヤルは〈動画〉以外にセットしてください。
- カメラのファインダーをのぞいて、構図を決めてからピントを合わせます。

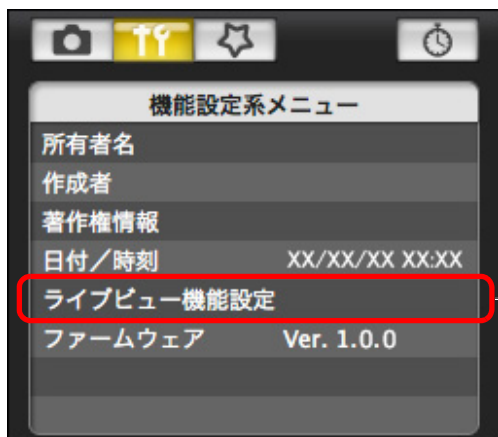
2 ［カメラの設定／リモート撮影］をクリックする

➜ キャプチャー画面が表示されます。

3 カメラを設定し、［ ］ボタンを押す

- ［撮影系メニュー］（p.13）の機能も併用することができます。
- キャプチャー画面で設定できない機能（ドライブモードなど）は、カメラを操作して設定してください。

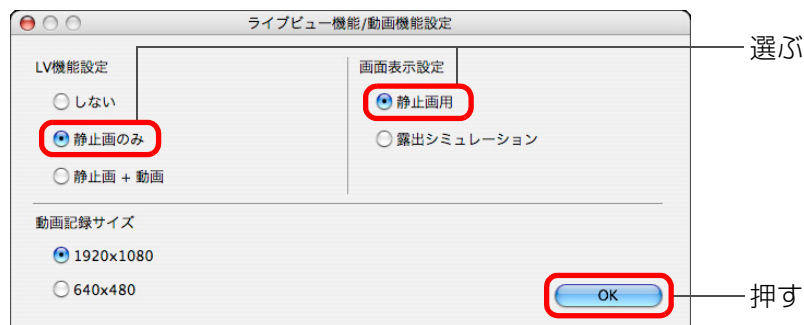
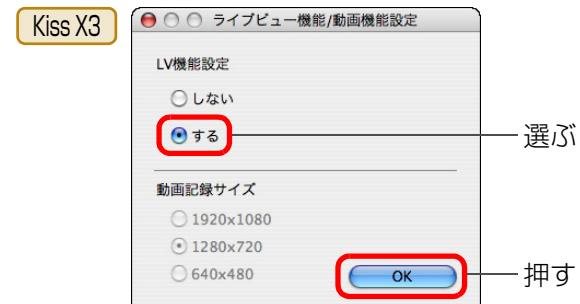
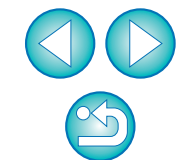
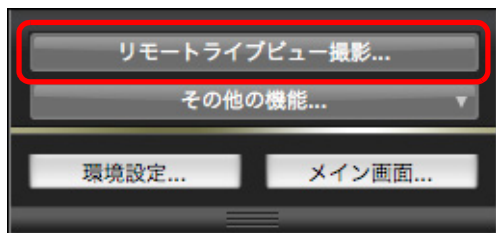
➜ ［機能設定系メニュー］が表示されます。

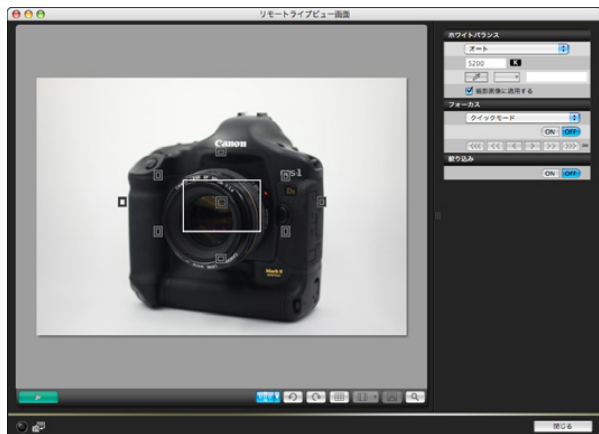
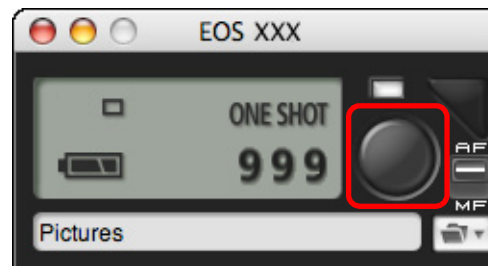
4 ライブビュー機能を設定する

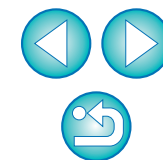
● ［ライブビュー機能設定］をクリックし、表示される［ライブビュー撮影］画面で、［する］をクリックします。

ライブビュー撮影画面

● 5D Mk II Kiss X3 では、［ライブビュー機能／動画機能設定］をクリックし、表示される［ライブビュー機能／動画機能設定］画面で、5D Mk II は［静止画のみ］と、［静止画用］を選んで、［OK］ボタンを押します。Kiss X3 は、［する］を選んで［OK］ボタンを押します。

ライブビュー機能／動画機能設定画面

5D Mk II

Kiss X3

5 ［リモートライブビュー撮影］ボタンを押す

➜［リモートライブビュー画面］が表示されます。

リモートライブビュー画面

6 ［●］ボタンを押して撮影する

➜撮影した画像がパソコンに転送されて、［クイックプレビュー］画面に表示され、そのあと DPP が自動的に立ち上がります。

- DPP が立ち上がる前に表示される［クイックプレビュー］画面では、撮影した画像を素早く確認することができます。なお、［クイックプレビュー］画面の表示サイズは変更することができます。
- キャプチャー画面の［その他の機能］ボタンを押して、表示されるメニューから［クイックプレビュー］を選ぶと、［クイックプレビュー］画面を表示／非表示にすることができます。

- **[リモートライブビュー画面]** が表示されているときは、カメラ側の操作はできません。カメラの〈SET〉ボタン（5D Mk II 50D Kiss X3 は、ライブビュー撮影ボタン）を押すことで、カメラの液晶モニターにもライブビュー画像が表示され、カメラの操作をすることができるようになります。
- **[リモートライブビュー画面]** を表示させなくても、キャプチャー画面を操作することで撮影できます。
- **[リモートライブビュー画面]** で露出シミュレーション （p.31）を行うときや、ヒストグラムの表示 （p.57）を有効にするときは、カメラのカスタム機能の **[ライブビュー露出シミュレーション]** を **[する]** に設定してください。また、5D Mk II 50D では、メニューの **[露出Simulation]** を **[する]** に設定してください。
- 5D Mk II 50D では、リモート撮影でもミラーアップ撮影を行うことができます。（ミラーアップ撮影に設定してテスト撮影を行うことはできません）
- パソコンとメモリーカードの両方に撮影画像を保存することができます。（p.44）
- リモート撮影した画像がパソコンに転送されると自動的に立ち上がるソフトウェアを、DPP から ImageBrowser や別のソフトウェアに変更することができます。（p.44）
- リモートライブビュー画面の機能一覧は、p.57 を参照してください。
- 拡大表示画面の機能一覧は、p.58 を参照してください。

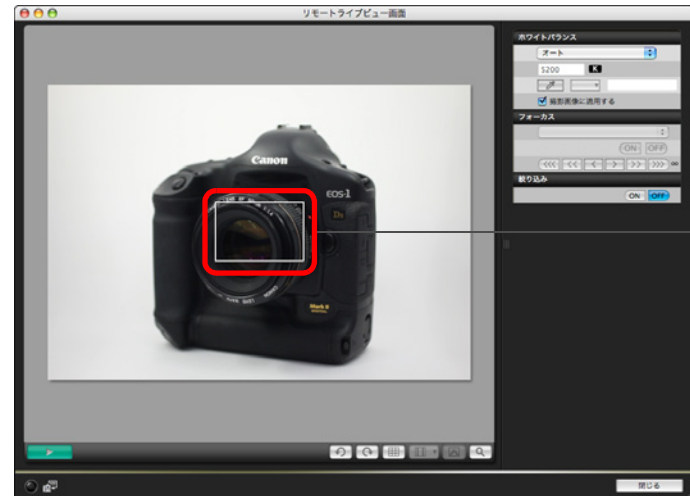
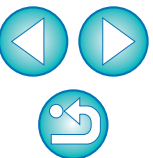
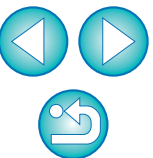
リモートライブビュー画面の機能

パソコンの画面上で被写体を見ながらピントを合わせたり、カメラの設定内容確認など、リモートライブビュー画面の各種機能について説明します。

手動ピント合わせ

リモートライブビュー画面で拡大した画像を見ながら、手動でピント合わせを行うことができます。

1 レンズのフォーカスモードスイッチを〈AF〉にする

2 拡大したい箇所に［□］をドラッグする

3 [🔍] ボタンを押す

→ 手順 1 で選んだ箇所が、**[拡大表示]** 画面に 100%（ピクセル等倍）で拡大表示されます。

拡大表示画面

- **[拡大表示]** 画面で表示位置を移動するときは、[◀]、[▲]、[▼]、[▶] のいずれかを押します。
- **[拡大表示画面を継続表示する]** をチェックすると、**[拡大表示]** 画面を継続して表示させることができます。
- 手順 1 で拡大したい箇所をダブルクリックして、**[拡大表示]** 画面に 100%（ピクセル等倍）で拡大表示させることもできます。
- **[拡大表示]** 画面で画像をダブルクリックすると、**[リモートライブビュー画面]** に戻ります。
- **[200%]** をチェックすると、200%で拡大表示させることができます。

4 ピントを合わせる

- [<<<]、[>>>]：調整量　大
- [<<]、[>>]：調整量　中
- [<]、[>]：調整量　小

→ 調整したピント位置に応じて、**[リモートライブビュー画面]** もリアルタイムで変わります。

キーボードのキー操作でピントを合わせることもできます。

調整量	近くに	遠くに
大	〈I〉	〈O〉
中	〈K〉	〈L〉
小	〈<〉	〈>〉

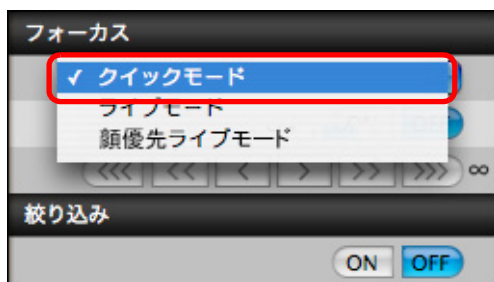
AF によるピント合わせ

5D Mk II　50D　Kiss X3

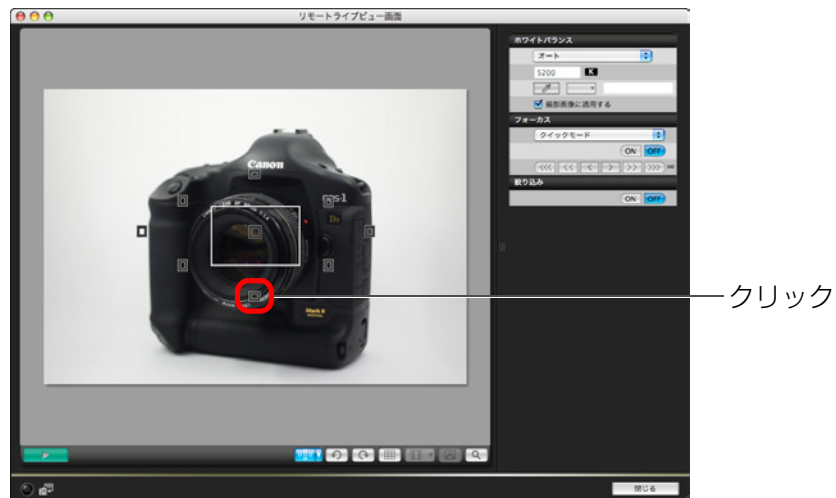
カメラでの操作と同じように、クイックモード、ライブモード、顔優先ライブモードの各 AF モードで、自動的にピント合わせを行うことができます。

クイックモードによるピント合わせ

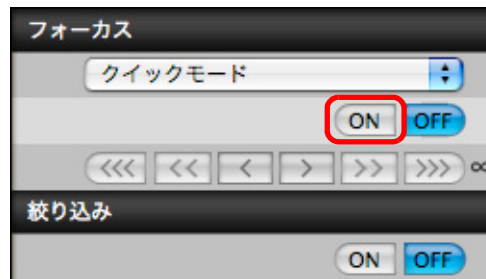
5D Mk II　50D　Kiss X3

1 リストボックスから［クイックモード］を選ぶ

→ AF フレームが表示されます。

● [ ] ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

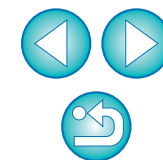
2 ピントを合わせたい位置にある AF フレームをクリックする

● [ ] の［▼］をクリックすると、AF フレームの任意選択と自動選択を切り換えることができます。

● 自動選択では、すべての AF フレームが自動的に選ばれた状態になります。

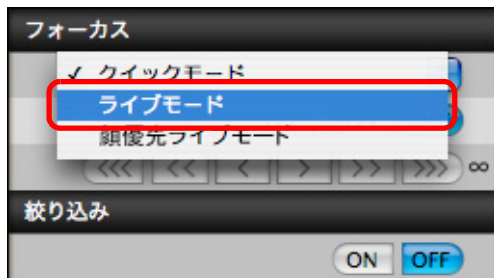
3 ［ON］ボタンを押す

→ AF が行われます。

→ ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームが赤色に変わります。

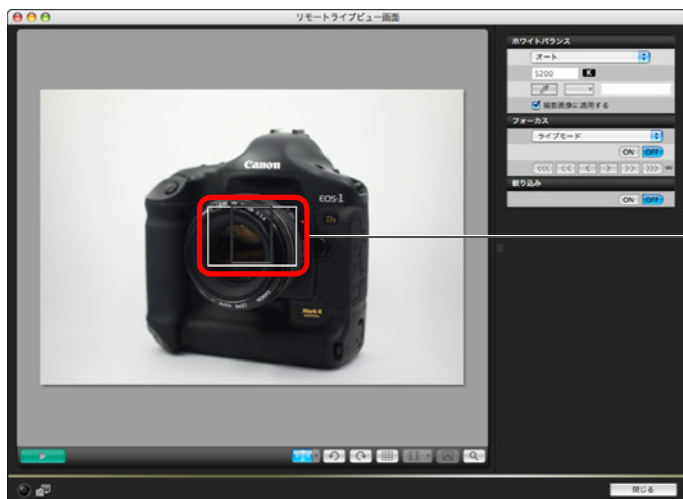
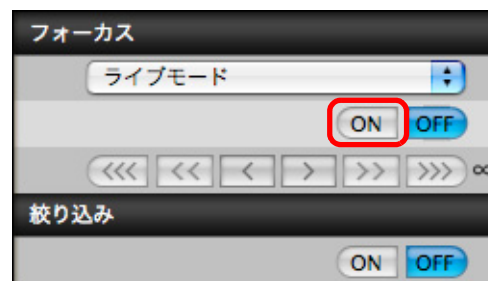
● AF フレームをダブルクリックしても、AF が行われます。

● AF 動作を中止するときは、［OFF］ボタンを押します。

ライブモードによるピント合わせ

5D Mk II　50D　Kiss X3

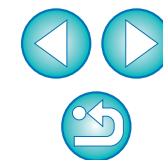
1 リストボックスから［ライブモード］を選ぶ

→ AF フレームが表示されます。

● [ ] ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

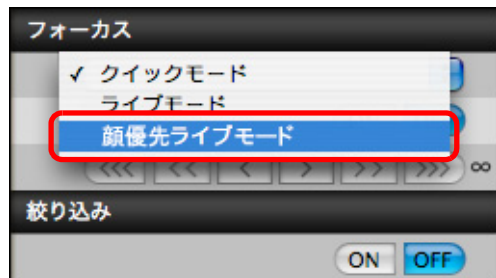
2 拡大表示枠をドラッグして、ピントを合わせたい位置に動かす

3 ［ON］ボタンを押す

→ AF が行われます。

→ ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームが緑色に変わります。

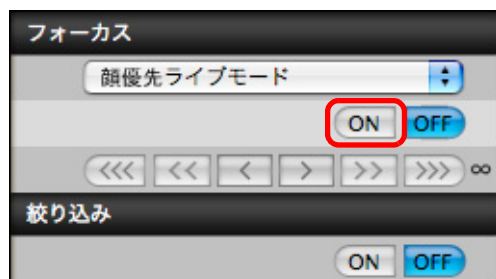
● ピントが合わないときは、AF フレームが赤色に変わります。

顔優先ライブモードによるピント合わせ

5D Mk II 50D Kiss X3

1 リストボックスから［顔優先ライブモード］を選ぶ

→ 顔を検知すると、AF フレームが表示されます。

● カメラが検知している顔が他にもあるときは、その顔の位置にカーソルを重ねると、新しい AF フレームが表示されます。その位置でクリックすると、その AF フレームが選ばれます。

● ［ ］ボタンを押すと、AF フレームの表示／非表示を切り換えることができます。

2 ［ON］ボタンを押す

→ AF が行われます。

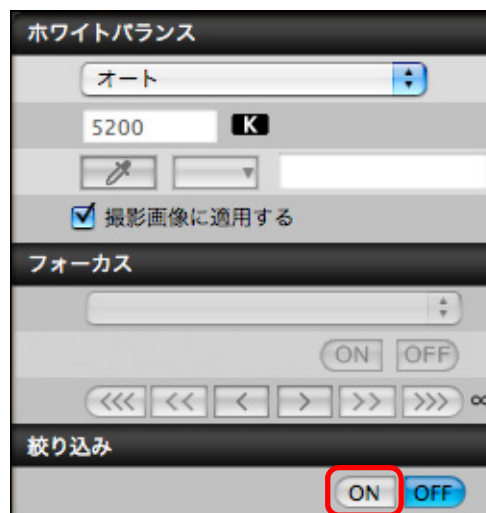
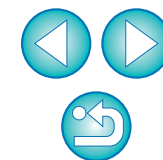
→ ピントが合うとカメラの電子音が「ピピッ」と鳴り、AF フレームが緑色に変わります。

● ピントが合わないときは、AF フレームが赤色に変わります。

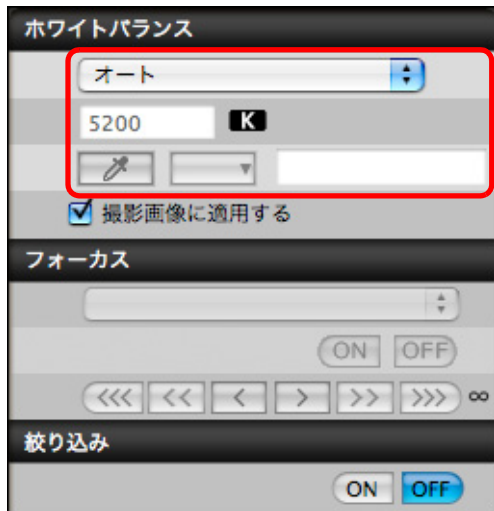
● 顔を検知できないときは、AF フレームを中央に固定してピント合わせが行われます。

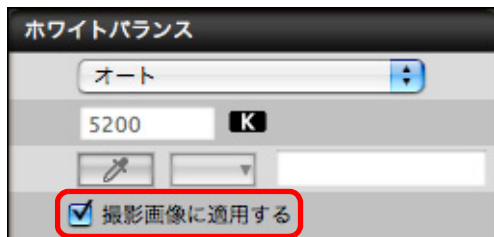
被写界深度と露出の確認

リモートライブビュー画面上で、被写界深度と露出を確認することができます。

［ON］ボタンを押す

→ キャプチャー画面（p.56）の設定値で絞り込み（露出シミュレーション）が行われます。

リモートライブビュー画面のホワイトバランス

リモートライブビュー画面に表示された画像のホワイトバランスを変更し、カメラに登録することができます。

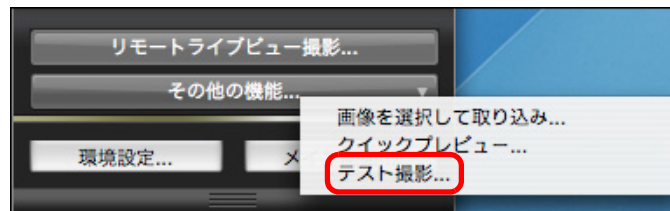
1 画像に適用するホワイトバランスを選ぶ

➜ 選んだホワイトバランスがリアルタイムで表示される画像に適用され、［リモートライブビュー画面］で確認することができます。

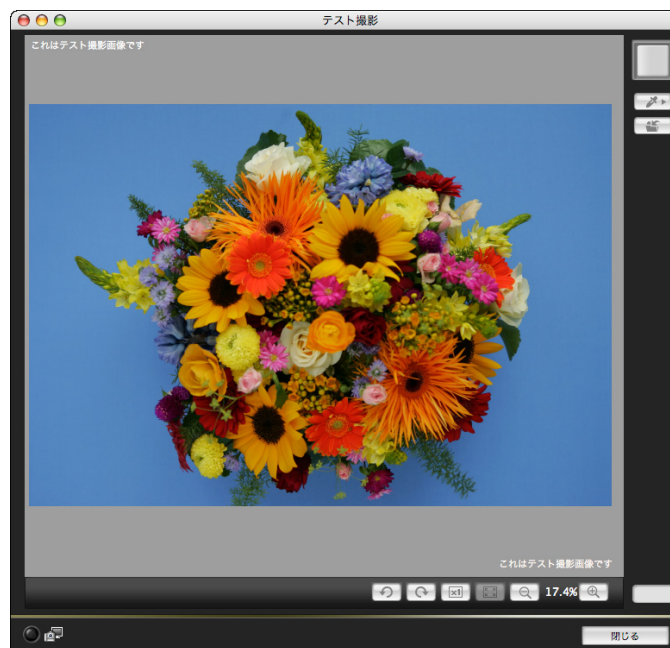
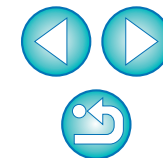
2 ［撮影画像に適用する］をチェックする

➜ 選んだホワイトバランスがカスタムホワイトバランスとしてカメラに登録され、撮影する画像に適用されます。

ストロボ撮影時のホワイトバランス

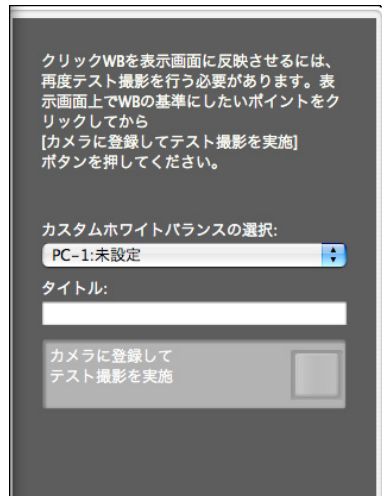
ストロボ撮影など、瞬間的に光をあてる撮影を行うときは、本撮影と同じ条件でテスト撮影を行い、撮影したテスト画像をもとに、［テスト撮影］画面でホワイトバランスを調整することができます。

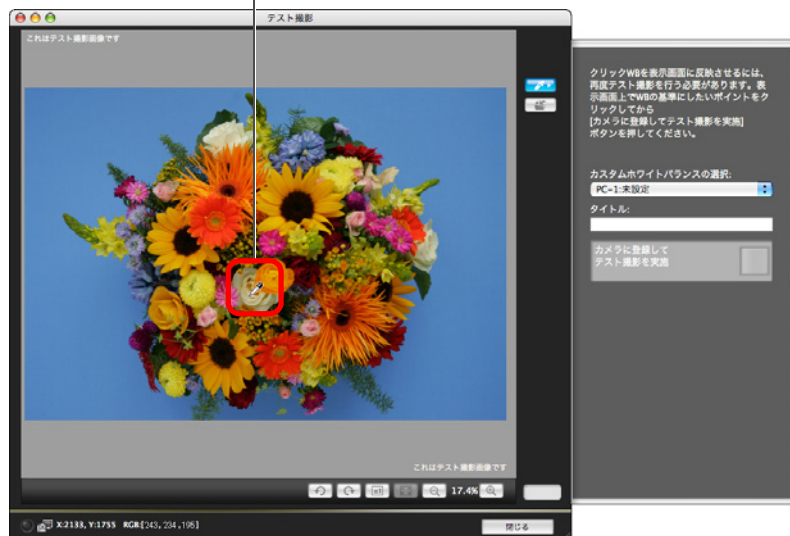
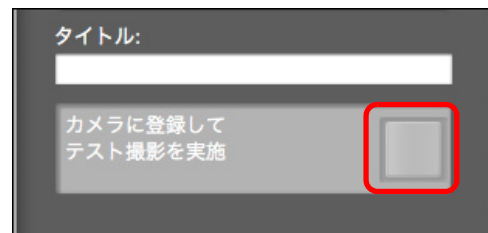
なお、ストロボを使わないときにも、テスト撮影を行うことができます。

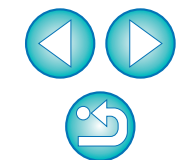
1 ［その他の機能］ボタンを押して、表示されるメニューから［テスト撮影］を選ぶ

➜ 撮影した画像が［テスト撮影］画面に表示されます。

テスト撮影画面

2 [ ] ボタンを押す

→ クリックホワイトバランス画面が表示されます。

クリックホワイトバランス画面

3 白の基準とする箇所をクリックする

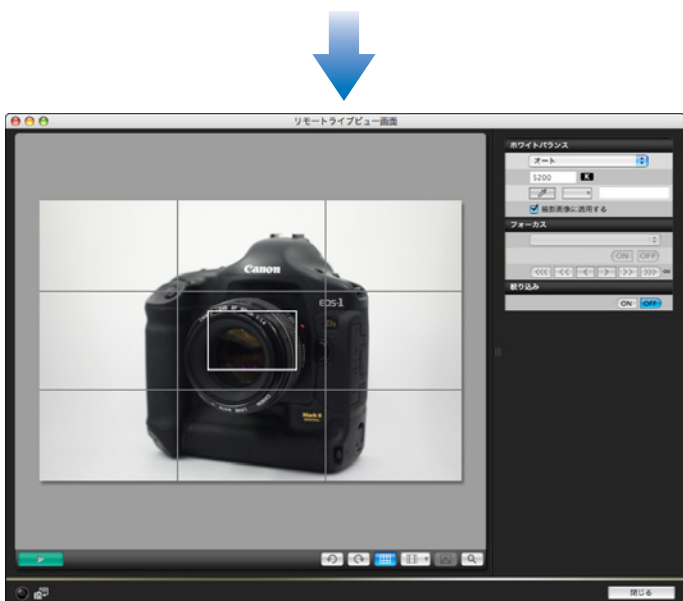
クリック

4 [カメラに登録してテスト撮影を実施] ボタンを押す

→ 手順 3 でクリックした箇所を白の基準として再度撮影が行われ、撮影した画像が **[テスト撮影]** 画面に表示されます。

- テスト画像は保存されません。テスト画像を保存したいときは、[ ] ボタンを押します。
- **[テスト撮影]** 画面を閉じるときは、**[閉じる]** ボタンを押します。

[テスト撮影] 画面の機能一覧は p.59 を参照してください。

カメラの水平／垂直を出す

カメラのライブビュー機能と同じように、**［リモートライブビュー画面］**にグリッド線を表示して、カメラの水平／垂直を出すことができます。

1 ［▦］ボタンを押す

➜ **［リモートライブビュー画面］**上に、グリッド線が表示されます。

2 カメラを動かして、水平／垂直を出す

● グリッド線を消すときは、再度［▦］ボタンを押します。

アスペクト比を変える

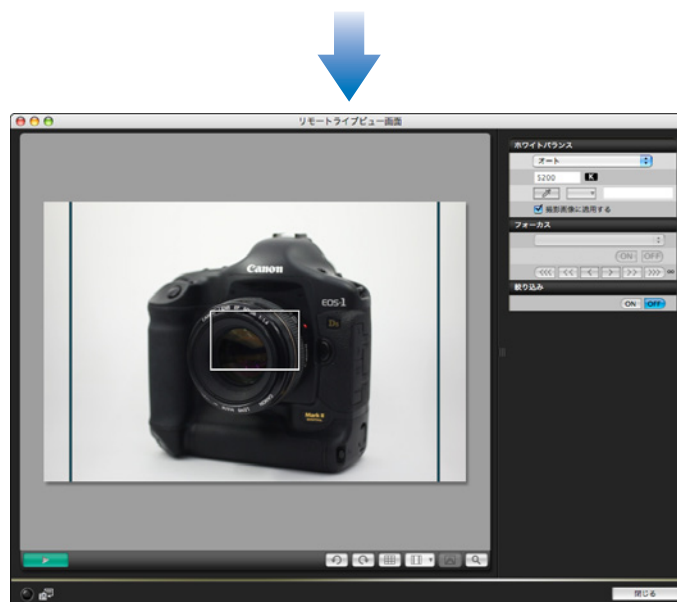
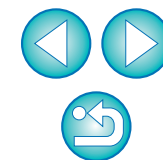
📷 1Ds Mk III　1D Mk III

カメラのライブビュー機能と同じように、6 × 6cm、6 × 4.5cm、4 × 5inch など、フィルム式の中判／大判カメラと同じような感覚で撮影することができます。

また、撮影した画像にはアスペクト比情報が自動的に付加され、この画像を DPP で見ると、アスペクト比情報に基づいたトリミング画像として表示されます。

なお、撮影した画像にはアスペクト比情報が付加されるだけで、実際の画像自体はトリミングされません。

1 ［▥▾］ボタンを押して、アスペクト比を選ぶ

➜ **［リモートライブビュー画面］**上に、選んだアスペクト比の縦線が表示されます。

2 カメラを動かして構図を決める

● アスペクト比を通常状態に戻すときは、［ ］ボタンを押して［しない］を選びます。

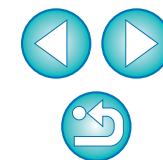
カメラ操作による撮影

リモート撮影の状態でも、カメラ単独での撮影と同じように、カメラを操作して撮影することができます。また、撮影画像はパソコンのハードディスクに保存されるため、メモリーカードの容量を気にせず、大量の撮影を行うことができます。

1 キャプチャー画面を表示する （p.24）

2 カメラのシャッターボタンを押して撮影する

➜ 撮影した画像がパソコンに転送されて DPP が自動的に立ち上がり、撮影した画像が表示されます。

［リモートライブビュー画面］が表示されているときは、カメラの〈SET〉ボタン（5D Mk II 50D Kiss X3 は、ライブビュー撮影ボタン）を押してカメラの液晶モニターにライブビュー画像を表示させてから、カメラを操作してください。

動画の撮影

EU からカメラをコントロールして、パソコンの画面上で動画撮影を行うことができます。

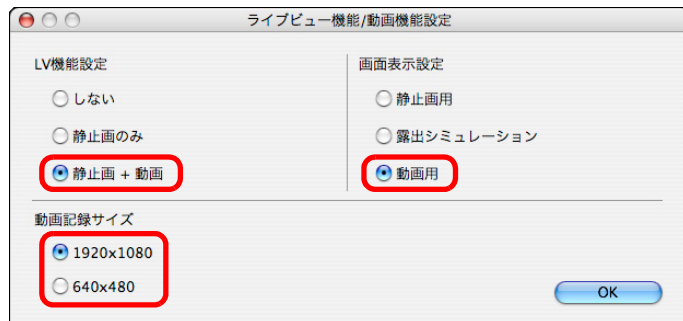
5D Mk II

1 ライブビュー撮影の準備をする

- 「リモートライブビュー撮影」(p.24) の手順 1 ～ 3 を行います。

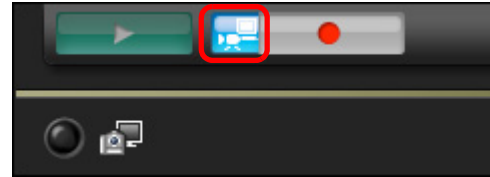
2 [ライブビュー機能／動画機能設定] をクリックする

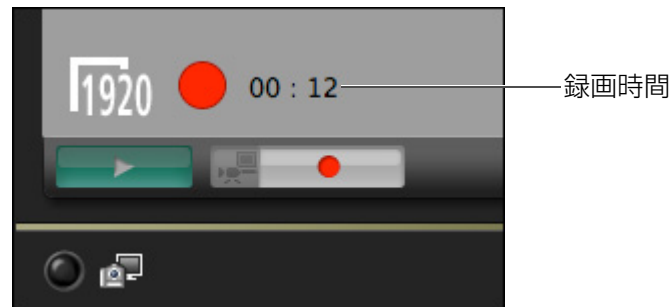
→ [ライブビュー機能／動画機能設定] 画面が表示されます。

3 [静止画＋動画]、[動画用] を選び、動画記録サイズを設定する

4 [OK] ボタンを押す

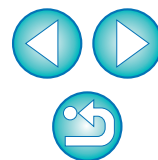
→ [ライブビュー機能／動画機能設定] 画面が閉じ、[リモートライブビュー画面] が表示されます。

5 ピントを合わせる (p.27、p.29)

6 [リモートライブビュー画面] 左下の [ ] ボタンを押す

7 [ ] ボタンを押して撮影を開始する

→ [リモートライブビュー画面] の左下に、[●] マークと録画時間が表示されます。

- [ ] ボタンをもう一度押すと撮影を終了します。
- [リモートライブビュー画面] を閉じると、動画モードで撮影した画像データ（動画 / 静止画）のファイル名一覧画面が立ち上がります。[保存先フォルダ] と [ファイル名] を指定したあと、画面の [OK] ボタンを押すと、カメラのメモリーカードから、パソコンに画像データが取り込まれます。
  なお、ファイル名のチェックボックスからチェックを外した画像データは取り込まれません。あとで、カメラのメモリーカードからパソコンに画像データを取り込むときは、本使用説明書の p.6 ～ p.9 に記載されている方法で取り込んでください。

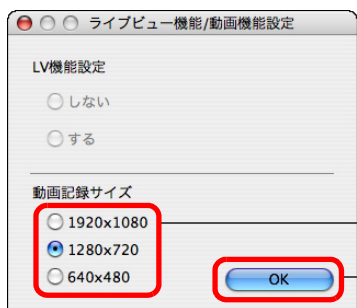
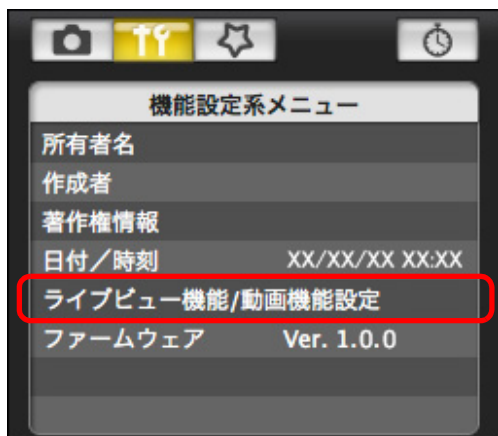
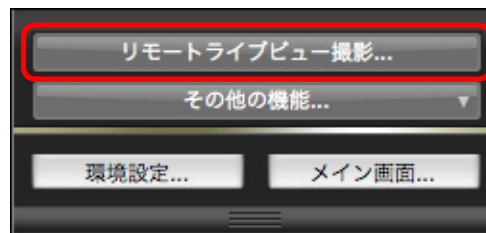
リモートライブビュー撮影で、カメラ操作による動画撮影をするときも、[ ] ボタンを押さないと撮影できません。

はじめに
やりたいこと目次
画像取り込み
カメラ設定
リモート撮影
環境設定
資料
索引

Kiss X3

1 ライブビュー撮影の準備をする

●「リモートライブビュー撮影」(p.24) の手順 1 ～ 2 を行います。

2 カメラのモードダイヤルを〈'卌〉にする

●動画記録サイズの設定をするときは、**［ライブビュー機能／動画機能設定］**をクリックし、**［ライブビュー機能／動画機能設定］**画面を表示させて行います。

3 ［リモートライブビュー撮影］を押す

➜［リモートライブビュー画面］が表示されます。

4 ピントを合わせる (p.27、p.29)

5 ［リモートライブビュー画面］左下の［ ］ボタンを押す

6 [●] ボタンを押して撮影を開始する

➜ [リモートライブビュー画面] の左下に、[●] マークと録画時間が表示されます。

- [●] ボタンをもう一度押すと撮影を終了します。
- [リモートライブビュー画面] を閉じると、動画モードで撮影した画像データ（動画 / 静止画）のファイル名一覧画面が立ち上がります。[保存先フォルダ] と [ファイル名] を指定したあと、画面の [OK] ボタンを押すと、カメラのメモリーカードから、パソコンに画像データが取り込まれます。
  なお、ファイル名のチェックボックスからチェックを外した画像データは取り込まれません。あとで、カメラのメモリーカードからパソコンに画像データを取り込むときは、本使用説明書の p.6 ～ p.9 に記載されている方法で取り込んでください。

リモートライブビュー撮影で、カメラ操作による動画撮影をするときも、[ ] ボタンを押さないと撮影できません。

タイマー制御による自動撮影

設定した時間や枚数でカメラが自動撮影する、2 種類のタイマー撮影を行うことができます。

タイマー撮影

設定した時間が経過すると自動的に 1 枚撮影することができます。

1 キャプチャー画面を表示する (p.24)

2 [ ] ボタンを押す

→［タイマー撮影設定］画面が表示されます。

3 遅延時間を入力して［開始］ボタンを押す

- 設定時間の範囲は、1 秒単位で 0 分 0 秒～ 99 分 59 秒です。

→設定した時間が経過すると撮影されます。

インターバルタイマー撮影

設定した撮影間隔と撮影枚数にしたがって自動撮影することができます。

1 キャプチャー画面を表示する (p.24)

2 [ ] ボタンを押す

→［タイマー撮影設定］画面が表示されます。

3 ［インターバルタイマー撮影を行う］をチェックする

4 撮影間隔と撮影枚数を入力する

- 撮影間隔の範囲は、1 秒単位で 5 秒～ 99 分 59 秒です。
- 撮影枚数は 2 枚から設定できます。また、設定できる撮影枚数は、パソコンのハードディスク空き容量によります。

5 ［開始］ボタンを押す

→設定した時間の間隔で、設定枚数の撮影が行われます。

パソコンによっては、撮影間隔の時間設定が短いと、画像の転送や保存が間に合わず、設定した間隔での撮影ができなくなることがあります。そのときは、撮影間隔の設定を長くして、再度撮影してください。

バルブ撮影

1 キャプチャー画面を表示する (p.24)

2 撮影モードアイコンをダブルクリックして、[BULB] を選ぶ

- 1Ds Mk III 1D Mk III 5D Mk II 以外では、カメラのモードダイヤルを〈M〉(マニュアル露出)に設定し、キャプチャー画面またはカメラでシャッター速度を [BULB] に設定してください。

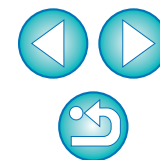
3 絞り数値を設定する

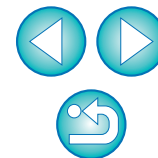
4 [ ] ボタンを押す

→ [タイマー撮影設定] 画面が表示されます。

5 露光時間を入力して [開始] ボタンを押す

- 露光時間の範囲は、1 秒単位で 5 秒～ 99 分 59 秒です。

露光時間を設定せずに、[●] ボタンを押すことでバルブ撮影を開始／終了させることもできます。

4 環境設定

EU の各種機能を環境設定画面で変えて、より使いやすくすることができます。

環境設定

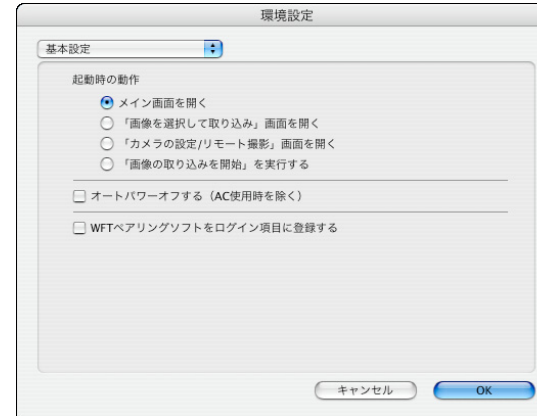
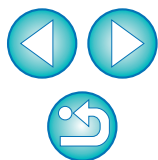
1 メイン画面の［環境設定］ボタンを押す

➜［環境設定］画面が表示されます。

2 各項目を設定して［OK］ボタンを押す

➜ 設定内容が EU に適用されます。

基本設定

EU を立ち上げたときの動作や、オートパワーオフ機能の ON ／ OFF を設定することができます。

- **［起動時の動作］**で**［「画像を選択して取り込み」画面を開く］**を選んだときは、ビューワー画面（p.7）が表示されます。
- **［起動時の動作］**で**［「カメラの設定／リモート撮影」画面を開く］**を選んだときは、キャプチャー画面（p.11）が表示されます。
- **［起動時の動作］**で**［「画像の取り込みを開始」を実行する］**を選んだときは、**［ファイル保存］**画面（p.6）が表示され、パソコンへの画像取り込みがはじまります。すべての画像が取り込まれると、DPP が自動的に立ち上がり、DPP のメイン画面に取り込んだ画像が表示されます。
- **［オートパワーオフする］**をチェックすると、カメラ側のオートパワーオフ機能が有効になります。なお、チェックを外すと、カメラ側でオートパワーオフ機能を設定していても、オートパワーオフ機能は無効になります。（パソコンとの接続中のみ）
- **［WFT ペアリングソフトをログイン項目に登録する］**をチェックすると、WFT ペアリングソフトが、メイン画面で**［アクセサリー］**タブ画面を選んだときに表示される、ログイン項目に登録されます。

保存先フォルダ

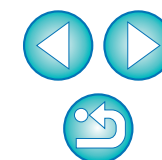
カメラから取り込んだ画像や、リモート撮影した画像の保存先フォルダを設定することができます。

- 保存先フォルダを設定するときは、［参照］ボタンを押してください。［参照］ボタンを押して保存先フォルダを設定すると、設定した保存先フォルダの下に、サブフォルダが自動的に作成されます。
- ［画像取り込み］、［リモート撮影］、［フォルダ監視］のいずれかをチェックすると、チェックした機能を実行したときにサブフォルダが生成されます。
- 生成するサブフォルダの命名規則はリストボックスから選ぶことができます。また、［カスタマイズ］ボタンを押すことで、サブフォルダの命名規則をカスタマイズすることができます。

ファイル名

カメラから画像を取り込んだり、リモート撮影した画像のファイル名を設定することができます。

- 画像のファイル名を設定するときは、ファイルの命名規則をリストボックスから選びます。（［変更しない］を選んだときは、カメラで設定したファイル名で画像が保存されます）また、［カスタマイズ］ボタンを押すことで、ファイルの命名規則をカスタマイズすることができます。
- ファイル名の接頭文字、連番の数字桁数、開始数字は個別に設定することができます。

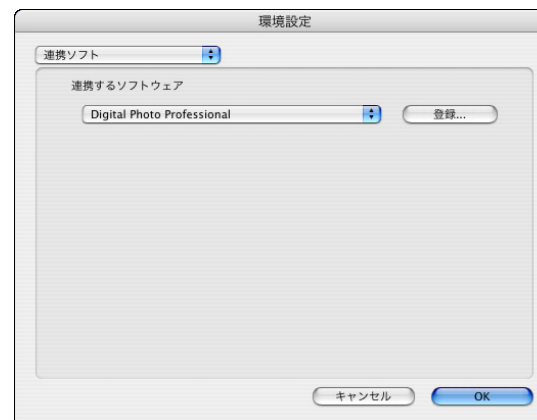
はじめに
やりたいこと目次
画像取り込み
カメラ設定
リモート撮影
環境設定
資 料
索 引

画像取り込み

メイン画面で［**画像の取り込みを開始**］をクリックしたときの、取り込み対象となる画像を、リストボックスから選ぶことができます。

リモート撮影

リモート撮影したときの撮影画像をカメラ内のメモリーカードにも保存したり、撮影時のカメラ位置にかかわらず、撮影画像を回転させる機能を有効にすることができます。なお、回転角度の設定はキャプチャー画面（p.56）で行います。

連携ソフト

カメラから画像を取り込んだり、リモート撮影したときに連携するソフトウェアを、リストボックスから選ぶことができます。また、［**登録**］ボタンを押すことで、他社製ソフトウェアを連携するソフトウェアとして登録することもできます。

- ImageBrowser を選んだときは、画像を取り込んだあとの動作を指定することができます。
- ［**登録**］ボタンを押すと表示される画面では、他社製ソフトウェアを連携させるときに、通知する画像の種類を指定することができます。

EU を快適に使っていただくため、この「資料」を設けました。
各種のトラブル解決法や EU の削除方法の他、主要な画面の全表示内容を掲載しています。
また、章の最後には索引を設け、知りたいことを見つけやすくしています。

こんなときは

EU が正しく動作しないときは、下記の例を参考にチェックしてください。

手順どおりにインストールできない

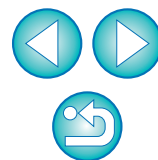
- 管理者権限のあるアカウントでログインしないと、ソフトウェアをインストールすることができません。管理者権限のあるアカウントでログインしなおしてください。
ログイン方法、管理者の設定方法については、Macintosh や Mac OS X の使用説明書などを参照してください。

EU が立ち上がらない

- 手順どおりに操作しても EU が立ち上がらないときは、ソフトウェアの初期設定ファイルが壊れている可能性があります。すべてのソフトウェアを終了して、インターフェースケーブルをパソコンから取り外し、［Preferences］フォルダから正しく動作しない初期設定ファイルを削除して、EU を再起動してください。
システムが保存されているハードディスクドライブ ▶［ユーザ］フォルダ ▶ ログインしているユーザーのフォルダ ▶［ライブラリ］フォルダ ▶［Preferences］フォルダの順に開き、下記の初期設定ファイルを削除します。

初期設定ファイル	内　容
com.canon.EOS Utility 2.plist	EU の初期設定ファイル

EU とカメラが通信できない

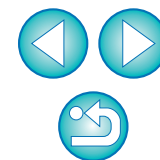
- 動作環境と違ったパソコンでは、EU は正しく動作しません。動作環境にあったパソコンを使ってください。(p.2)
- インターフェースケーブルのプラグは、正しい向きでしっかりと根元まで差し込んでください。正しく接続されていないと、正常な通信ができないだけでなく、カメラやパソコンの故障の原因となります。(p.5)
- カメラの電源スイッチが〈ON〉になっているか確認してください。(p.5)
- EOS DIGITAL カメラ専用のキヤノン製インターフェースケーブル以外では、EU とカメラは正しく通信できないことがあります。(p.5)
- カメラとパソコンは、カメラに付属のインターフェースケーブルで直接接続してください。ハブを介してカメラとパソコンを接続すると、EU とカメラが通信できないことがあります。
- 複数の USB 機器（マウス、キーボードを除く）をパソコンに接続していると、正常に通信できないことがあります。正常な通信ができないときは、マウス、キーボード以外の USB 機器をパソコンから外してください。
- 1 台のパソコンに 2 台以上のカメラを接続しないでください。カメラが正常に動作しないことがあります。
- カメラのバッテリー残量が少ないと、EU との通信はできません。充電済みのバッテリーに入れ換えるか、カメラに付属の AC アダプターキットを使ってください。なお、インターフェースケーブルによるパソコンからカメラへの電源供給は行われません。

EU とカメラの通信が途中で切れる

- カメラのオートパワーオフ機能が働くと、自動的にカメラの電源が切れ、EU との通信ができなくなります。オートパワーオフ機能を OFF にするときは、環境設定の **［基本設定］** 画面 （p.42） で **［オートパワーオフする］** のチェックを外すか、カメラでオートパワーオフ機能を **［切］** に設定してください。

- カメラとパソコンを接続したまま何も操作を行わないと、パソコン環境により、通信の継続を確認する画面が表示されることがあります。この画面が表示されたときに何も操作を行わないと、カメラとの通信が切断され、EU が終了します。その場合には、カメラの電源スイッチを〈OFF〉にしてから再度〈ON〉にして、EU を立ち上げてください。

- カメラとパソコンを接続している状態で、パソコンをスタンバイ（スリープ）状態にしないでください。万一、パソコンがスタンバイ状態になってしまったときは、インターフェースケーブルはパソコンから取り外さず、必ず接続したままでスタンバイ状態から回復してください。スタンバイ状態でインターフェースケーブルを取り外すと、パソコンの機種によってはスタンバイ状態から正常に回復しないことがあります。スタンバイ状態の詳細については、パソコンの使用説明書を参照してください。

EU でリモート撮影した画像が DPP で表示されない

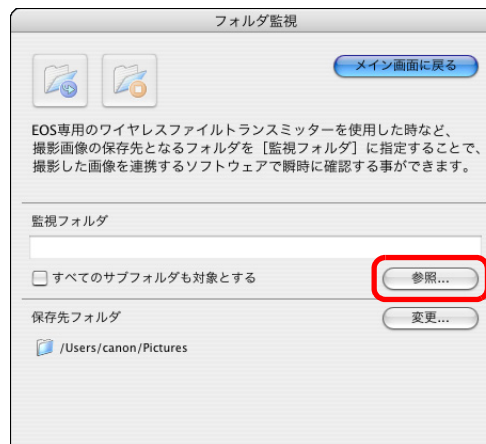
- Digital Photo Professional 上で、メニューの **［ツール］** ▶ **［EOS Utility とフォルダ同期］** を選びます。

フォルダ監視機能（WFT-E2、E3、E4 との連携機能）

ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E2、E3、E4（別売）を使って、撮影した画像を Digital Photo Professional（以降 DPP）でリアルタイムに確認することができる機能です。

WFT-E2、E3、E4 の設定方法については、WFT-E2、E3、E4 に付属の使用説明書を参照してください。

1 ［フォルダ監視］をクリックする

→［フォルダ監視］画面が表示されます。

2 ［参照］ボタンを押して、撮影画像の保存先フォルダを指定する

● WFT-E2、E3、E4 で設定した撮影画像の保存先フォルダを指定します。

3 ［変更］ボタンを押して、転送先フォルダを指定する

4 ［ ］ボタンを押す

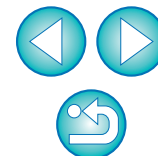
→ 画像転送の準備ができました。

5 撮影する

→ 撮影画像が手順 2 で指定したフォルダに保存されると、手順 3 で指定したフォルダに転送／保存されます。

→ DPP が立ち上がり、手順 3 で指定したフォルダに保存された画像が表示されます。

手順 2 と 3 で指定するフォルダを同じフォルダにすることはできません。

手順 5 で連携して立ち上がるソフトウェアを、DPP から ImageBrowser や別のソフトウェアに変更することができます。（p.44）

アクセサリーとの連携機能

ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E2、E3、E4（別売）をお持ちの方は、EU から前記のアクセサリー用ソフトウェアを立ち上げることができます。

また、Picture Style Editor（ピクチャースタイルファイル作成用ソフトウェア）を立ち上げることもできます。

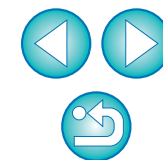
なお、それぞれのソフトウェアの詳しい使いかたについては、各ソフトウェアの使用説明書を、ピクチャースタイルファイルについては、p.17 を参照してください。

1 カメラとパソコンを接続して、EU を立ち上げる (p.5)

2 [アクセサリー] タブをクリックする

➜ [アクセサリー] タブ画面が表示されます。

3 立ち上げたいソフトウェア項目をクリックする

➜ クリックしたソフトウェアが立ち上がります。

メモリーカード内のフォルダ構造とファイル名

カメラで撮影した画像は、メモリーカードの［DCIM］フォルダ内に、以下のフォルダ構造、ファイル名で保存されます。カードリーダーを使って、パソコンに撮影画像をコピーするときの参考にしてください。

DCIM ─ xxxEOS1D または xxxCANON

ファイル名	ファイルの種類
****YYYY.JPG	JPEG 画像ファイル
****YYYY.CR2	RAW 画像ファイル
****YYYY.MOV	MOV 動画ファイル
****YYYY.THM	サムネイルファイル
****YYYY.WAV	音声ファイル

- ファイル名の **** には、工場出荷時の設定または、カメラで設定したカメラ固有の文字が入ります。
- ファイル名の YYYY には、0001 ～ 9999 までの数字が入ります。

CANONMSC　カメラが［DCIM］フォルダ内の画像を管理するためのファイルが入っています。

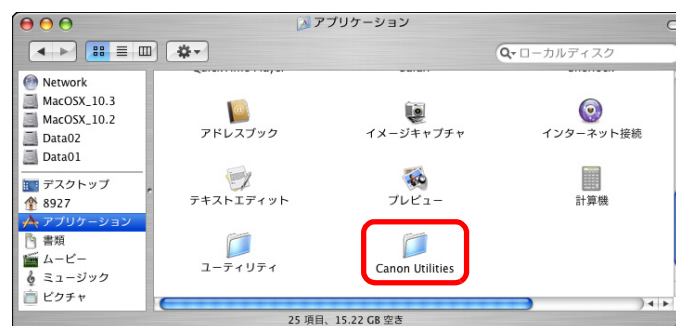
- フォルダ名の xxx には、100 ～ 999 までの数字が入ります。
- 1D シリーズカメラの CF カード、SD カードのフォルダ構造は同じです。
- カメラで DPOF の設定を行うと［MISC］フォルダが作成されます。［MISC］フォルダには、DPOF の設定内容を管理するファイルが保存されています。
- サムネイルファイルは、動画と同じ画像番号で保存される、撮影情報などが記録されたファイルです。カメラで動画を再生するときは、動画ファイルとサムネイルファイルが必要です。

Adobe RGB に設定し撮影した画像は、ファイル名の先頭文字が「 _ 」（アンダーバー）になります。

ソフトウェアを削除する（アンインストール）

- ソフトウェアの削除をはじめる前に、立ち上がっているすべてのソフトウェアを終了してください。
- ソフトウェアの削除を行うときは、インストールしたときのアカウントでログインしてください。
- 削除するフォルダやソフトウェアをゴミ箱に移動したときは、メニューの［Finder］▶［ゴミ箱を空にする］を選び、ゴミ箱を空にしてください。ゴミ箱を空にしていない状態では、ソフトウェアの再インストールはできません。

1 ソフトウェアが保存されているフォルダを表示する

- ［Canon Utilities］フォルダを開きます。

2 ［EOS Utility］フォルダをゴミ箱に移動する

3 デスクトップ上でメニューの［Finder］▶［ゴミ箱を空にする］を選ぶ

➜ EU が削除されます。

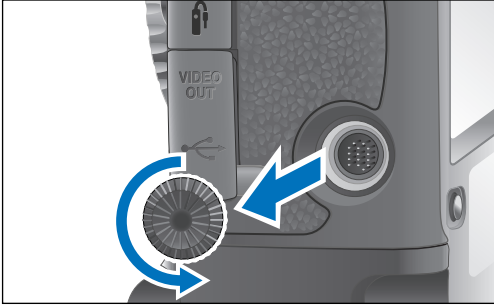
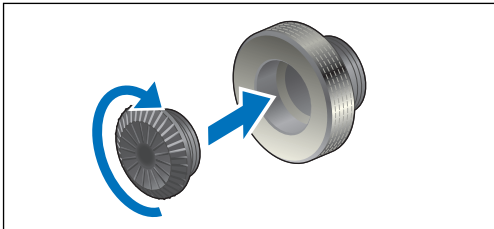
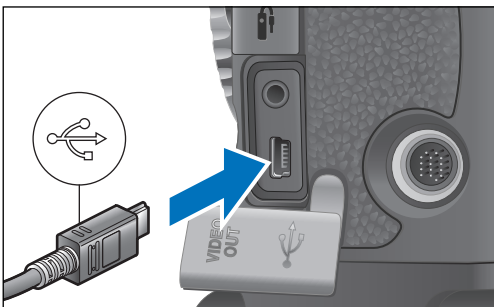
4 パソコンを再起動する

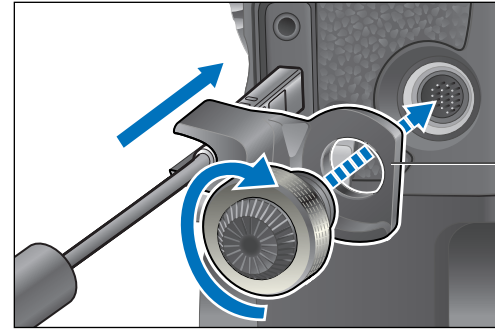
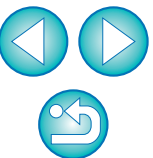
ゴミ箱を空にして削除したデータは復元することができません。十分に確認してから削除してください。

カメラとプラグの固定

1Ds Mk III 1D Mk III

リモート撮影中に、カメラからプラグが抜けないよう、カメラとプラグをケーブルプロテクターで固定します。

1 キャップを取り外す

2 キャップを取り付けネジに取り付ける

3 ケーブルの小さい方のプラグを、カメラの〈⭠⭢〉端子に差し込む

- プラグの〈⭠⭢〉マークをカメラの前面に向けて差し込みます。

4 ケーブルプロテクターを取り付け、取り付けネジで固定する

メイン画面の機能一覧

カメラ操作タブ画面

アクセサリータブ画面

ビューワー画面の機能一覧 (p.7)

ブラケティング撮影マーク
一度パソコンに取り込んだマーク
記録メディアの切り換え
動画マーク
画像の選択条件
記録メディアのフォルダ階層
RAW 画像マーク
sRAW+JPEG 画像マーク
プロテクトマーク
RAW+JPEG 画像マーク
音声録音マーク
画像表示の大きさ
キャプチャー画面表示
EU を終了
クイックプレビュー画面表示
画像の消去
チェックマーク (p.7)
メイン画面表示
パソコンへの画像取り込み
環境設定画面表示

EOS Utility – EOS XXX
選択画像のみ表示
選択を反転する
すべて
100EOS1D
100-0001
100-0002
100-0003
100-0004
100-0005
100-0006
100-0007
100-0008
100-0009
100-0010
100-0011
100-0012
取り込み...
8/12画像選択
ラージ
環境設定...
メイン画面...
終了

周辺光量補正データの登録画面の機能一覧 (p.20)

周辺光量補正データの登録

超広角・広角　標準・中望遠　望遠

レンズカテゴリー選択

マクロ　ズーム

Lレンズのみ

EF-S10-22mm f/3.5-4.5 USM
EF-S17-55mm f/2.8 IS USM
EF-S17-85mm f/4-5.6 IS USM
EF-S18-55mm f/3.5-5.6
EF-S18-55mm f/3.5-5.6 IS
EF-S18-55mm f/3.5-5.6 USM
EF-S55-250mm f/4-5.6 IS
EF-S60mm f/2.8 Macro USM

エクステンダー　EF1.4XII　EF2XII　選択したレンズのみ表示

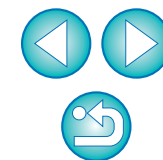
18/40　キャンセル　OK

すべてのカテゴリーを表示

レンズのカテゴリー

登録されているレンズのみを表示

［レンズカテゴリー選択］で選ばれた、カテゴリー別のレンズを表示

カメラに登録されているレンズの数／登録可能なレンズの数

［周辺光量補正データの登録］画面に表示されるレンズ名は、レンズの種類によってはレンズ名の一部が省略されて表示されることがあります。

マイメニューの設定画面の機能一覧 (p.21)

マイメニューの並び順の入れ換え

マイメニューの設定

カメラのマイメニューに設定する項目

- ホワイトバランス
- 色空間
- ピクチャースタイル
- 画像プロテクト

マイメニュー（最大６項目）

←追加

- ホワイトバランス
- MWBデータ登録
- WB補正/BKT設定
- 色空間
- ピクチャースタイル
- JPEG画質
- 画像サイズ
- 撮影画像の確認時間
- 電子音
- カードなしレリーズ
- ダストデリートデータ取得
- 画像プロテクト
- 画像回転

マイメニューに登録できる全項目

削除　カメラに登録　閉じる

マイメニューに追加

マイメニューの設定画面を閉じる

マイメニューをカメラに登録

マイメニューから削除

キャプチャー画面の機能一覧

EOS XXX

- ドライブモード
- ブラケティング撮影
- 電源状態 *2
- 撮影可能枚数
- 撮影モード
- 色温度
- ホワイトバランス
- 測光モード
- 露出レベル
- **[撮影系メニュー]** 表示 （p.14）
- **[機能設定系メニュー]** 表示 （p.12）
- **[リモートライブビュー画面]** 表示 （p.26、p.57）
- 環境設定画面表示 （p.42）
- AF モード
- 撮影画像の回転 *1
- 撮影ボタン *4 （p.26）
- AF ／ MF 切り換えボタン *5
- 撮影画像の保存先
- シャッター速度
- 絞り数値
- ISO 感度
- 記録画質
- 撮影画像の保存場所 *3
- タイマー撮影画面表示 （p.39、p.40）
- **[マイメニュー]** 表示 （p.22）
- ビューワー画面表示 （p.7、p.53）
- **[クイックプレビュー]** 画面表示／非表示
- **[テスト撮影]** 画面表示 （p.32、p.59）
- メイン画面表示 （p.52）

ONE SHOT　999　Pictures　M　1/125　F5.6　K　5200　ISO D+　100　RAW+L　-2..-1..0..+1..+2

撮影系メニュー
ピクチャースタイル　スタンダード
詳細設定　3，0，0，0
ユーザー設定登録
WB補正　0,0
周辺光量補正

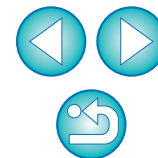
リモートライブビュー撮影...
その他の機能...
環境設定...　メイン画面...

*1 ボタンを押すたびに、撮影画像が 90 度単位で回転します。この機能を有効にするには、環境設定の **[リモート撮影]** 画面 （p.44） で、**[画像の回転機能]** をチェックしてください。

*2 バッテリーを使っているときは、バッテリー残量が表示されます。

*3 撮影画像の保存場所をパソコンのみにするか、パソコンとカメラ内のメモリーカードの両方に保存するかを選ぶことができます。なお、動画モード時は、カメラ内のメモリーカードのみに保存されます。

*4 5D Mk II 50D Kiss X3 では、AF ／ MF 切り換えボタンが **[AF]** に設定されているときに、撮影ボタンにカーソルを重ねると、AF ／ AE が行われます。

*5 5D Mk II 50D Kiss X3 のみ表示されます。**[MF]** に設定されているときでも、撮影した画像の撮影情報は「AF」になります。なお、カメラの撮影モードが〈A-DEP〉に設定されているときは、このボタンは無効になります。

リモートライブビュー画面の機能一覧 (p.24)

拡大表示枠

色温度設定

操作部 1

ホワイトバランス選択 (p.32)

クリックホワイトバランス

AF モード (p.29 ～ p.31)

レンズ駆動 (p.28)

被写界深度の確認 (p.31)

操作部 1 の表示／非表示

AF フレーム

録画時間

録画中マーク

動画記録サイズ

リモートライブビュー機能の開始／停止

操作部 2

画面を閉じる

キャプチャー画面の表示 (p.56)

AF フレーム表示／非表示

拡大表示画面の表示 (p.28、p.58)

画像の回転

ヒストグラムの表示／非表示

録画スタンバイ

グリッド線の表示／非表示 (p.34)

録画開始／停止

アスペクト比設定 (p.34)

拡大表示画面の機能一覧 （p.27）

表示位置を移動

色温度設定

操作部 1

ホワイトバランス選択 （p.32）

クリックホワイトバランス

AF モード （p.29 ～ p.31）

レンズ駆動 （p.28）

被写界深度の確認 （p.31）

表示モード *

拡大表示画面の表示を継続

操作部 1 の表示／非表示

表示位置を移動

表示位置を移動

リモートライブビュー機能の開始／停止

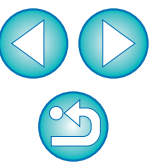
操作部 2

画面を閉じる

キャプチャー画面の表示 （p.56）

画像の回転

表示位置を移動

リモートライブビュー画面に戻る

* ［ ］ボタンを押すと、カメラの液晶モニターを見ながらピントを合わせるのに適した画質になり、［ ］ボタンを押すと、パソコンの画面を見ながらピントを合わせるのに適した画質になります。

テスト撮影画面の機能一覧 (p.32)

テスト撮影

これはテスト撮影画像です

テスト撮影ボタン

クリックホワイトバランス画面表示 (p.33)

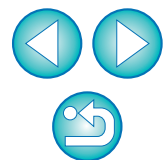
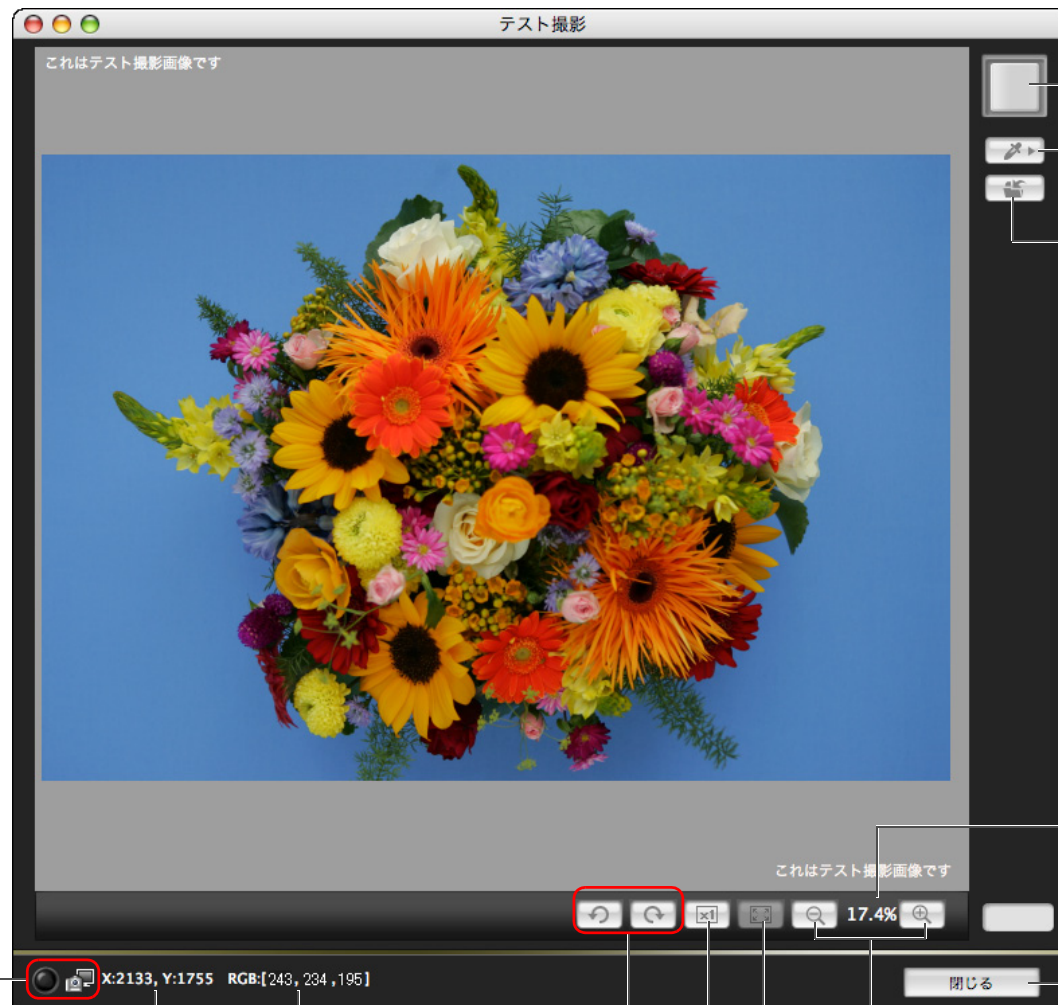
テスト撮影した画像を保存

画像の拡大率

17.4%

キャプチャー画面の表示

X:2133, Y:1755 RGB:[243, 234, 195]

閉じる

画面を閉じる

座標 *

RGB 値 *

画像の回転

画像の拡大／縮小

100%（ピクセル等倍）表示

画面にあわせる表示

* [クリックホワイトバランス] 画面を表示（p.33）して、画像の白の基準となる箇所にカーソルを重ねたときのみ表示

索　引

ま

ら

わ

この使用説明書について

登録商標について

付属ソフトウェアに関するご相談窓口

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90002

受付時間：平日 9：00 ～ 20：00
土・日・祝日 10：00 ～ 17：00
（1 月 1 日～ 1 月 3 日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9556 をご利用ください。
※IP 電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。